

平成27年度  
福井市教育委員会事務の管理および執行の状況の  
点検・評価報告書

平成28年11月

福井市教育委員会

## 目 次

1	はじめに	1
2	点検・評価方法等	2
3	平成 27 年度 福井市教育委員会の活動状況	
(1)	福井市教育委員会委員	3
(2)	教育委員会の開催状況	3
(3)	教育委員会審議案件	3
(4)	教育委員の活動状況	5
(5)	審議会等審議状況	8
4	平成 27 年度 教育に関する事務の管理及び執行状況	11
5	外部の知見	56

## 1 はじめに

本報告書「平成 27 年度福井市教育委員会の事務の管理及び執行状況の点検・評価報告書」（以下、「点検・評価報告書」という。）は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づき、より効果的な教育行政の推進と市民に対する説明責任を果たすため、市教育委員会が平成 27 年度の福井市教育振興基本計画の成果報告とともに、教育委員会の各種活動状況について点検・評価を行い、教育に関する学識経験者の意見を付して報告するものです。

### 【参考】

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検・評価方法等

対象期間

平成 27 年度（平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月）

点検・評価方法

(1) 点検・評価報告書の作成

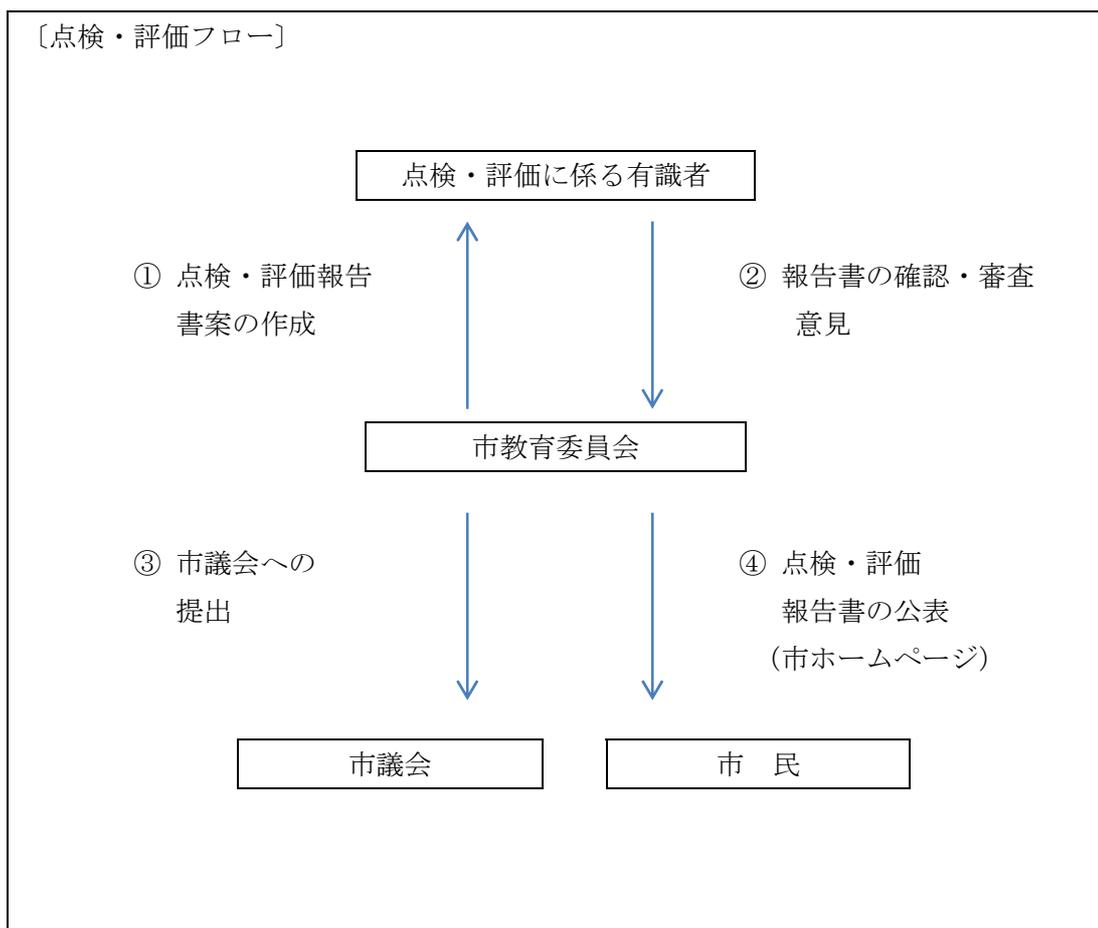
・教育委員会において点検・評価報告書案を作成

(2) 点検・評価報告書の確認、審査

・有識者による点検・評価報告書案の内容の確認及び審査

(3) 点検・評価結果の公表

・点検・評価報告書を市議会に提出するとともに、市のホームページにおいて公表



### 3 平成 27 年度 福井市教育委員会の活動状況

#### (1) 福井市教育委員会委員

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

職名	氏名	任期	職業等
委員長	玉 木 誠	H25. 12. 24～ H29. 12. 23	会社社長
委員長 職務代理者	佐 藤 藤 枝	H27. 12. 18～ H31. 12. 17	元公民館主事
委員	木 村 敦 子	H26. 10. 1～ H30. 9. 30	元看護師
委員	春 木 伸 一	H28. 3. 23～ H28. 12. 21	医師
委員 (教育長)	内 田 高 義	H25. 6. 27～ H29. 6. 26	元中学校校長

#### (2) 教育委員会の開催状況

委員会	開催日	議案件数	報告件数
平成 27 年 4 月定例会	H27. 4. 6	0	1
5 月定例会	H27. 5. 25	3	2
6 月定例会	H27. 6. 18	5	0
7 月定例会	H27. 7. 16	1	2
8 月定例会	H27. 8. 27	2	2
9 月定例会	H27. 9. 25	0	0
10 月定例会	H27. 10. 28	4	0
11 月定例会	H27. 11. 26	0	0
12 月定例会	H27. 12. 21	2	0
1 月定例会	H28. 1. 25	2	0
2 月定例会	H28. 2. 19	5	0
2 月臨時会	H28. 2. 24	1	0
3 月定例会	H28. 3. 25	8	0
計		33	7

#### (3) 教育委員会審議案件

開催日	内 容	
H27. 4. 6 (定例)	第 1 号報告	専決処分（福井市立幼稚園管理規則の一部改正）の承認を求めることについて
H27. 5. 25 (定例)	第 1 号議案	平成 28 年度使用福井県義務教育諸学校教科用図書採択福井高志地区協議会の設置について
	第 2 号議案	市議会定例会提出議案（工事請負契約の変更）に同意することについて
	第 3 号議案	市指定文化財の指定解除について
	第 2 号報告	専決処分（福井市教育委員会所管事務委任規則等の一部改正）の承認を求めることについて
	第 3 号報告	専決処分（福井市教育委員会職務権限規程の一部改正）の承認を求めることについて

H27. 6. 18 (定例)	第 4 号議案 第 5 号議案 第 6 号議案 第 7 号議案 第 8 号議案	福井市社会教育委員の会議等に関する規則の一部改正について 市議会定例会提出議案（工事請負契約の締結）に同意することについて 市議会定例会提出議案（製造請負契約の変更）に同意することについて 福井市自然史博物館運営協議会委員の委嘱について 福井市美術館運営協議会委員の委嘱について
H27. 7. 16 (定例)	第 9 号議案 第 4 号報告 第 5 号報告	特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡植生・植栽管理計画について 専決処分（福井市少年愛護センター運営委員会委員の委嘱）の承認を求めることについて 専決処分（福井市図書館協議会委員の委嘱）の承認を求めることについて
H27. 8. 27 (定例)	第 10 号議案 第 11 号議案 第 6 号報告 第 7 号報告	平成 28 年度～ 31 年度使用中学校教科用図書の採択について 福井市スポーツ推進審議会委員の委嘱について 専決処分（福井市社会教育委員の委嘱）の承認を求めることについて 専決処分（福井市少年自然の家運営協議会委員の委嘱）の承認を求めることについて
H27. 10. 28 (定例)	第 12 号議案 第 13 号議案 第 14 号議案 第 15 号議案	市議会定例会提出議案（平成 27 年度福井市一般会計補正予算 民生費予算（案）、教育費予算（案））に同意することについて 市議会定例会提出議案（福井市体育施設条例の一部改正）に同意することについて 市議会定例会提出議案（平成 27 年度福井市一般会計補正予算） に同意することについて 市議会定例会提出議案（福井市文化施設指定管理者の指定）に同 意することについて
H27. 12. 21 (定例)	第 16 号議案 第 17 号議案	委員長の選挙について 委員長職務代理者の指定について
H28. 1. 25 (定例)	第 18 号議案 第 19 号議案	平成 28 年度の学年始休業日および秋季休業日、冬季休業日の特 例措置について 市議会定例会提出議案（公民館設置に関する条例の一部改正）に 同意することについて
H28. 2. 19 (定例)	第 20 号議案 第 21 号議案 第 22 号議案 第 23 号議案 第 24 号議案	市議会定例会提出議案（福井市教育に関する事務の職務権限の特 例に関する条例の制定）に同意することについて 教育委員の辞職の同意について 委員長職務代理者の指定について 市議会定例会提出議案（平成 28 年度福井市一般会計当初予算） に同意することについて 市議会定例会提出議案（福井市認定こども園設置条例の制定）に 同意することについて
H28. 2. 24 (臨時)	第 25 号議案	福井市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の制定に 対する教育委員会の意見について
H28. 3. 25 (定例)	第 26 号議案 第 27 号議案 第 28 号議案 第 29 号議案 第 30 号議案 第 31 号議案 第 33 号議案	福井市教育委員会の権限に関する事務の委任に関する規則の制定 について 福井市教育委員会後援名義使用承認事務取扱要綱の制定について 平成 28 年度福井市社会教育方針の制定について 社会教育指導員の委嘱について 福井市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の施行に 伴う福井市教育委員会規則の廃止に関する規則の制定について 福井市文化会館防火管理規程の廃止について第 32 号議案 市文 化財の指定について 名勝養浩館（旧御泉水屋敷）庭園保存活用計画について

#### (4) 教育委員の活動状況

時期	活動内容（参加行事等）	委員名
平成 27 年 4 月 1 日	教育委員会辞令交付式	内田教育長
	社会教育指導員委嘱状交付式	内田教育長
4 月 2 日	新採用校長・教頭挨拶式 新任教職員着任式	教育委員全員
4 月 3 日	公民館長委嘱状交付式	内田教育長
4 月 6 日	福井市総合教育会議（第 1 回）	教育委員全員
	4 月定例教育委員会	教育委員全員
4 月 8 日	福井県都市教育長協議会 総会	内田教育長
4 月 9 日	全国都市教育長協議会 第 1 回常任理事会・理事会	内田教育長
4 月 11 日	橋本左内先生生誕祭	玉木委員長・内田教育長
4 月 18 日	中体連春季強化大会激励	内田教育長
4 月 23～24 日	東海北陸都市教育長協議会 役員会 東海北陸都市教育長協議会 定期総会並びに研究大会（福井大会）	内田教育長
4 月 24 日	福井市公民館連絡協議会総会	内田教育長
4 月 30 日	市文化協会評議員会	内田教育長
5 月 1 日	平成 26 年度末退職教職員感謝状贈呈式	教育委員全員
	私立幼稚園協会懇話会	内田教育長
5 月 9 日	福井市スポーツ少年団団結式 青少年育成福井市民会議総会	玉木委員長・内田教育長
5 月 16 日	福井市 P T A 連合会総会	内田教育長
5 月 19 日	不死鳥のねがい推進協議会常任委員会	内田教育長
5 月 20 日	全国都市教育長協議会 第 2 回 常任理事・理事会合同会議	内田教育長
5 月 21～22 日	全国都市教育長協議会 第 67 回 定期総会・研究大会	内田教育長
5 月 23 日	市公民館運営審議会連絡会総会	内田教育長
	第 28 回市美展ふくい表彰式	内田教育長
5 月 25 日	5 月定例教育委員会	教育委員全員
5 月 26 日	平成 27 年度福井県市町教育委員会連絡協 議会役員会、総会および研修会	玉木委員長
5 月 30 日	「アメリカン・ポップアート展」開場式	内田教育長
6 月 9 日	学校訪問（光陽中）	木村委員・内田教育長
6 月 10 日	学校訪問（足羽第一中）	木村委員・内田教育長
6 月 12 日	美山公民館下味見分館増築改修工事安全 祈願祭	玉木委員長・内田教育長
	不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進 協議会総会	内田教育長
6 月 13 日	市民体育大会 総合開会式	内田教育長
6 月 16 日	学校訪問（豊小）	玉木委員長
	学校訪問（東郷小）	佐藤委員
6 月 17 日	学校訪問（順化小学校）	佐藤委員・木村委員
	学校訪問（鷹巣小中）	木村委員
	学校訪問（清水中） 県国体準備委員会総会	内田教育長
6 月 18 日	6 月定例教育委員会	教育委員全員
	第 63 回福井市中学校連合音楽会	教育委員全員
6 月 19 日	学校訪問（社北小）	玉木委員長
	教育関係者セミナー（～20 日）	内田教育長
	第 63 回福井市中学校連合音楽会	玉木委員長・佐藤委員・木村委員
6 月 23 日	学校訪問（足羽中）	玉木委員長
	学校訪問（美山中）	佐藤委員

6月25～26日	第57回福井市小学校連合音楽会	教育委員全員
6月29日	学校訪問（成和中）	佐藤委員
6月30日	学校訪問（社西小）	玉木委員長
7月1日	学校訪問（灯明寺中）	石原委員
7月2日	学校訪問（一乗小）	玉木委員長
	学校訪問（松本小）	佐藤委員
	全国都市教育長協議会第3回理事会	内田教育長
7月5日	青少年環境浄化一斉点検出発式	内田教育長
7月10日	中体連夏季総合競技大会激励	内田教育長
7月16日	7月定例教育委員会	教育委員全員
	文教施設視察	教育委員全員
	和田公民館移転新築工事安全祈願祭	内田教育長
	全国高校総体出場者激励会	
7月18日	美術館企画展開場式	内田教育長
7月21日	第1回社会教育委員の会議	内田教育長
7月22日	小学生全国大会出場者激励会	内田教育長
7月29日	一乗谷朝倉氏遺跡活用推進協議会	内田教育長
7月30日	全国特別支援学級設置学校長協会 研究協議会	内田教育長
8月4日	県女性校長・教頭会学校運営研究会	内田教育長
8月8日	はつらつ伝承塾成果発表会	玉木委員長・内田教育長
8月14日	全国中学校体育大会出場者激励会	内田教育長
8月17日	県国体準備委員会総会・常任委員会	内田教育長
8月19日	福井市青少年問題協議会	内田教育長
8月20日	全国高校美術、工芸教育研究大会	内田教育長
8月27日	8月定例教育委員会	教育委員全員
	少年自然の家運営協議会	内田教育長
8月28日	第73回国民体育大会福井市準備委員会第3回常任委員会	内田教育長
	第73回国民体育大会福井市準備委員会第3回総会及び「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会福井市実行委員会第1回総会	教育委員全員
9月12日	「ルネ・ラリッカー香りと装いの美展」開場式	内田教育長
9月18日	福井市小学校連合体育大会	玉木委員長・佐藤委員・木村委員
9月25日	9月定例教育委員会	教育委員全員
9月30日	福井市文化奨励賞選考委員会	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
10月2日	中体連秋季新人競技大会激励	内田教育長
10月4～6日	国体視察	内田教育長
10月5日	福井市公民館連絡協議会・福井市公民館運営審議連合会合同 市長と語る会	内田教育長
10月7日	橋本左内先生墓前祭	玉木委員長・内田教育長
10月19～20日	全国市町村教育委員会研究協議会（第1ブロック）	内田教育長
10月21日	福井市社会教育功労者表彰式	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
10月22日	子ども見守り重点デー	内田教育長
	福井市子ども会育成連合会教育長と語る会	内田教育長
10月23日	第2回総合教育会議	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
10月25～27日	全国障害者スポーツ大会視察	内田教育長
10月26日	学校訪問（六条小・麻生津小）	佐藤委員・木村委員
10月27日	学校訪問（日新小）	佐藤委員
10月28日	10月定例教育委員会	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
10月29～30日	福井県市町教育長研修会	内田教育長
10月30日	学校訪問（順化小）	玉木委員長

10月31日	「家族ふれあい絵手紙コンクール」優秀作品表彰式	内田教育長
11月3日	市文化奨励賞授与式	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
11月5日	全国都市教育長協議会理事会	内田教育長
	学校訪問（明新小）	玉木委員長
11月6日	学校訪問（藤島中）	玉木委員長
11月7日	学校訪問（松本小）	木村委員
11月9日	能楽教室	佐藤委員・木村委員
11月10日	学校訪問（木田小）	佐藤委員・木村委員
11月11日	学校訪問（国見中）	木村委員
11月13日	学校訪問（灯明寺中）	玉木委員長
11月14日	学校訪問（東藤島小）	玉木委員長
	「小さな親切」運動推進 県民のつどい	内田教育長
11月15日	本郷小学校創立10周年記念式典	内田教育長
11月20日	福井市公民館研究集会	内田教育長
	小中学生国際交流作品展開会式	内田教育長
11月26日	11月定例教育委員会	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
11月29日	青少年健全育成福井県民大会開会式	内田教育長
	福井市PTA連合会研究大会	内田教育長
12月2日	学校訪問（明道中）	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
12月5日	あすの福井県を創る協会 県民のつどい	内田教育長
12月17～18日	視察研修	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
12月21日	12月定例教育委員会	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
12月24日	第2回社会教育委員の会議	内田教育長
平成28年 1月8日	福井市・熊本市姉妹都市青少年交流事業 歓迎式	内田教育長
	三世代事始め	内田教育長
1月9日	あすの福井県を創る協会 事始めの会	内田教育長
1月10日	成人式	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
1月11日	福井市連合婦人会新年のつどい	内田教育長
1月12日	福井市連合婦人会事始め	内田教育長
1月15日	市町村教育委員研究協議会	玉木委員長・佐藤委員・木村委員
1月16日	「第17回福井市・吉田郡中学校美術科作品 かんじて・み・よさ展」開場式	内田教育長
1月25日	1月定例教育委員会	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
2月6日	美山公民館下味見分館竣工記念式典	玉木委員長・内田教育長
	福井市PTA連合会 市長・教育長と語る会	内田教育長
2月7日	あすの福井県を創る協会 ふるさと料理 を楽しむ会	内田教育長
2月8日	青少年育成市民会議 市長、教育長と語る 会	内田教育長
2月14日	麻生津地区子ども会育成会40周年記念式 典	内田教育長
2月18日	立志式（進明中）	木村委員
2月19日	2月定例教育委員会	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
2月20日	「美術の目でみる博物展」開場式	内田教育長
2月22日	第3回福井市総合教育会議	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
2月24日	臨時教育委員会	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
	立志式（至民中）	佐藤委員
2月25日	立志式（灯明寺中）	佐藤委員
3月8日	立志式（藤島中）	玉木委員長
	選抜高校野球大会出場激励会	内田教育長
	社会教育指導員情報交換会	内田教育長
3月14日	小学校卒業式	玉木委員長・佐藤委員・木村委員・内田教育長
3月15日	小中学校卒業式	玉木委員長・佐藤委員・内田教育長

3月16日	立志式(国見中)	木村委員
	立志式(清水中)	玉木委員長
3月17日	立志式(川西中)	佐藤委員
	鶉幼稚園・鶉東部分園卒園式	玉木委員長
3月18日	立志式(社中)	佐藤委員
3月17~23日	幼稚園卒園式	玉木委員長
3月22日	第3回社会教育委員の会議	内田教育長
3月25日	3月定例教育委員会	教育委員全員
3月28日	「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会福井市実行委員会第1回常任委員会	玉木委員長・内田教育長

## (5) 審議会等審議状況

審議会の名称	委員数	会議開催数	件名	種別	年月日
福井市学校不適応対策推進会議	12	3	福井市適応指導教室「チャレンジ教室」の活動全般に対する支援について	審議	27.7.21 27.12.24 28.2.25
福井市教育支援委員会	30	7	特別支援学級及び県立特別支援学校就学該当者の判断について	審議	27.4.15 27.5.14 27.7.2 27.7.23 27.7.30 27.9.16 28.2.18
福井市学校給食運営委員会	14	1	学校給食の現状について 中藤小学校の現況について(H27年度調理業務委託校) 単独調理校調理業務委託について	審議	27.7.16
福井市結核対策委員会	7	1	平成26年度結核健診実施状況 平成27年度実施の結核健診における要検討者について	審議	27.6.16
福井市少年愛護センター運営委員会	15	1	福井市少年愛護センターの事業概要について	審議	27.7.22
福井市青少年問題協議会	12	1	家庭の教育力の向上について	審議	27.8.19
福井市少年自然の家運営協議会	8	1	福井市少年自然の家の事業概要について	審議	27.8.27
福井市スポーツ推進審議会	14	1	福井市スポーツ推進計画について	報告	27.9.1
第73回国民体育大会福井市準備委員会第3回常任委員会	64	1	1. 第73回国民体育大会福井市市民協働推進基本計画 2. 第73回国民体育大会福井市観光・おもてなし基本計画 3. 第73回国民体育大会福井市プレ大会開催基本計画 4. 第73回国民体育大会福井市協賛取扱要項 5. 準備委員会の組織改正及び会則の改正 6. 平成26年度事業報告 7. 平成26年度収支決算	審議	27.8.28

			8. 平成27年度事業計画 9. 平成27年度収支予算		
第73回国民体育大会 福井市準備委員会第3 回総会及び「福井しあ わせ元気」国体・障害 者スポーツ大会福井市 実行委員会第1回総会	178	1	1. 準備委員会の組織改正及び会則の改 正 2. 平成26年度事業報告 3. 平成26年度収支決算 4. 平成27年度事業計画 5. 平成27年度収支予算	審議	27.8.28
「福井しあわせ元気」 国体・障害者スポーツ 大会福井市実行委員会 第1回常任委員会	66	1	1. 福井しあわせ元気国体福井市医療救 護対策要項 2. 福井しあわせ元気国体福井市感染症 対策要項 3. 福井しあわせ元気国体福井市食品衛 生対策要項 4. 福井しあわせ元気国体福井市環境衛 生対策要項 5. 「福井しあわせ元気」国体・障害者 スポーツ大会福井市開催推進総合年 次計画の一部変更について 6. 平成28年度事業計画 7. 平成28年度暫定収支予算	審議	28.3.28
福井市文化奨励賞選考 委員会	9	1	福井市文化奨励賞受賞者の選考について	選考	27.9.30
福井市文化財保護委員 会	10	1	・文化財の市指定について ・平成27年度文化財保護事業について	審議・答 申・諮問・ 報告	27.8.4
福井市文化財保護委員 会	10	1	・文化財の市指定について ・平成27年度文化財保護事業実績及び平 成28年度文化財保護事業について	審議・諮 問・報告	28.2.8
福井市自然史博物館運 営協議会	10	2	(第1回) 1. 平成26年度事業報告 2. ボランティア活動要綱の改正につ いて 3. 自然史博物館分館のネーミング・ラ イツ選定結果について 4. その他(自然史博物館分館開館記念 映画制作状況等、分館整備の状況に ついて)	協議	27.7.31
			(第2回) 1. 平成28年度当初予算について 2. セーレンプラネット(分館)の開館 時間、休館日、料金等について 3. 自然史博物館アドバイザーについて 4. 組織機構の改正について 5. その他	協議	28.3.20
福井市美術館運営協議 会	8	2	(第1回) 1. 平成27年度前期(4月～9月)事業 報告について 2. 平成27年度後期(10月～3月)事 業予定について	協議	27.10.14
			(第2回) 1. 平成27年度後期(10月～3月)事 業報告について 2. 平成28年度年間事業計画(案)に ついて	協議	28.3.19

福井市立郷土歴史博物館運営協議会	8	2	第1回 1. 平成26年度寄贈・寄託資料について 2. 平成27年度の事業について I 展示 II 教育普及 3. その他	審議	27.8.7
			第2回 1. 平成27年度下半期の事業について I 展示 II 教育普及 2. 平成28年度の事業について 3. その他	審議	28.2.29
福井市図書館協議会	9	2	(第1回) 1. 図書館の利用状況について 2. 図書館の行事について 3. 「絶歌：元少年A」の購入と閲覧について	協議・報告	27.8.19
			(第2回) 1. 図書館の利用状況について 2. 図書館の行事について 3. 新年度予算について 4. 特別開館について	協議・報告	28.3.3

## 4 平成 27 年度 教育に関する事務の管理及び執行状況

本市では、毎年度当初に、責任ある立場の部局長等が、市長との政策協議を経て、1 年間の仕事の目標や課題への対応方針を明らかにした部局マネジメント方針を策定しており、また、その進行管理については各部局で行い、年度の終了後にその達成度を成果報告として公表しています。

ここでは、教育に関する事務の管理及び執行状況として、教育委員会にかかる部局マネジメント方針の成果報告を掲載します。

注：福井市では第六次福井市総合計画に基づき、毎年度ごとに部局マネジメント方針を策定し、その進行管理を行うものとしており、第六次福井市総合計画を基本として策定した福井市教育振興基本計画の進行管理も兼ねております。

## 教育委員会 成果報告

教育長 内田 高義

教育部長 山本 みどり

### 部局達成度

			
—	34	1	6

### 総括

学校教育では、子どもたち一人ひとりが「生きる力」を身につけるため、学校、家庭、地域の連携を深めながら、充実した教育に努めました。また、通学路の安全対策を推進し、地域全体で子どもたちの健全育成を進めました。さらに、放課後留守家庭児童の健全育成と保護者の就労を支援するため、放課後児童クラブの新設・拡充を行いました。学校施設の整備では、耐震判断がC判定の校舎等の補強事業が全て完了しました。

社会教育では、地域の生涯学習やコミュニティ活動の拠点である公民館の計画的な整備を進め、市民の自主的な学習活動を支援しました。生涯スポーツでは、体育施設の改修に取り組み、弓道場の移転新築及び市体育館サブアリーナ建設事業が完了しました。また、平成 30 年の福井国体・全国障害者スポーツ大会の開催に向けて、国体専用ホームページを開設するなど広報啓発活動を進めました。

文化振興では、日本の伝統芸能に親しむ機会を創出し、特別史跡一乗谷朝倉氏遺跡や名勝養浩館庭園の適切な管理と活用に努めました。また、平成 28 年 4 月の開館に向けて自然史博物館分館の展示などの整備や運営体制などの準備を進めました。

## **組織目標ごとの達成状況**

### **I. 気がかりな児童生徒を支援し、子どもたちが生き生きと学校生活を送るための充実した学校教育を行います**

子どもたち一人ひとりが「生きる力」をバランスよく身につけるため、学校、家庭、地域の連携を深めながら、充実した質の高い学校教育に努めてきた結果、目標通りの成果が得られました。各学校では教育活動を地域に公開し、家庭や地域と一体となって子どもたちの教育について考え行動する気運が高まりました。児童生徒に応じたきめ細かな指導により「確かな学力」の育成を図るとともに、体験活動を通して豊かな心を育むことができました。

また、小中学校の特別支援教育コーディネーターの活動推進に取り組み、いきいきサポーターの配置などによって特別支援教育の強化を図りました。

さらに、ALTやFCA（福井市国際文化交流大使）の派遣により、小学校の外国語活動の充実を図り、中学生は英語サマーキャンプの開催などによって学習意識を高めました。

### **II. 学校における安全対策を充実し、食育と運動部活動、体力向上を推進して、子どもたちの心身の健全な発達に努めます**

全小中学校において、災害などを想定した訓練や危機管理の徹底に加え、通学路の安全対策や安全教育を推進することにより、児童生徒の安全の確保に備えるとともに、自らの身を守る力の育成に努めました。

また学校給食について、福井市産農産物を活用した安全・安心な給食の提供、及び栄養教諭・学校栄養職員を中心とした食育指導を計画的に実施することにより、児童生徒の食に対する関心と理解を高めました。

学校体育においては、児童生徒体力づくり推進計画に基づいて取り組むことや、運動部活動における外部指導者の活用や一流の指導者による実践的な指導により、児童生徒の意欲や意識の向上を図りました。

さらに、学校保健委員会の開催や健康診断、健康教育の実施によって、児童生徒の健康保持増進に努めました。

### **III. 家庭や地域、関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成を進めます**

地域全体で子どもたちの安全確保と健全育成に努めるとともに、家族のふれあいと明るい家庭づくりの推進を図り家庭の教育力向上に努めました。さらに、自然を生かした体験学習を通して、子どもたちの社会性や自立性、また豊かな感性を育むことに努めました。

将来に向けた望ましい勤労観や職業観を児童生徒に身につけさせるため、小学校では職場見学、中学校では企業関係団体と連携した職場体験を実施し、働くことの大切さや苦勞を学ばせることができました。

また、放課後留守家庭児童の健全育成と保護者の就労を支援するため、放課後児童クラブの新設・拡充を行いました。

#### IV. 施設の耐震化や老朽化に対応し、学校の環境整備に取り組みます

児童生徒が安全に安心して学べるよう取り組んできた学校施設の耐震化を、小中学校で計画通り実施し、耐震判断がC判定の校舎等の補強事業は全て完了しました。

また、学校生活環境の整備については、明道中学校の校庭や外構が完了し、さらに、校庭整備、プール改築及び体育館バリアフリー化を目標通り実施しました。引き続き、計画的に学校の安全面の向上と環境整備を進めていきます。

#### V. 市民一人ひとりの自主的な学習活動を支援し、市民憲章運動を進めます

地域の生涯学習やコミュニティ活動の拠点である公民館を、当初の計画どおり整備することができました。

公民館事業については、各地域のニーズに応じた魅力ある学習プログラムにより教育事業の推進を図った結果、利用者数などの目標値を達成することができました。

また、福井学や環境学習、世代間交流の推進においても目標を達成することができました。

さらに、福井市を美しくする運動に多くの市民の参加を得るとともに、花壇コンクールの応募数も増加し、市民憲章運動の浸透を図ることができました。

#### VI. 生涯スポーツを推進し、市民の豊かなスポーツ活動を支援します

**また、平成 30 年の福井国体・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた取組を進めます**

市民が安全・安心で気軽にスポーツを楽しむことができる環境の整備として、平成 26 年度から事業を進めていた、弓道場の移転新築及び市体育館サブアリーナ建設事業が完了しました。

また、国体競技施設整備事業として、西公園テニスコート全面改修、地域体育館及び開発グラウンドのリフレッシュ工事など、平成 30 年の福井国体開催に向けた施設整備を計画的に取り組みました。

施設利用者数は、中藤屋内運動場、藤岡サッカー場が通年で使用できるようになったことや、市体育館サブアリーナの完成に伴い目標を達成することができました。

国体の開催準備では市国体準備委員会を市実行委員会に組織変更するとともに、全庁挙げて取り組むため福井市庁内推進本部を設置しました。また、機運醸成を図るため、各種イベントに参加しPRグッズ等を配付したほか、国体専用ホームページを開設するなど、広報啓発活動を行いました。

## Ⅶ. 文化芸術活動を支援するとともに、歴史や文化遺産の保存と活用を進めます

伝統文化への興味・関心を持ってもらうため、能楽鑑賞会や小中学校での和楽器体験、無形民俗文化財保存団体の活動などを支援しました。

養浩館庭園では、庭師による庭園管理と、「越前焼きと苔庭」、「蠟月の茶会」など季節や伝統文化を楽しむ事業を実施しました。また、市文化協会による子どもを対象とした絵画教室やお茶席体験講座を、養浩館庭園で開催しました。

一乗谷朝倉氏遺跡では、上城戸周辺の公有化が完了したほか、復原町並屋外消火栓修繕、猪害対策として電気柵を延長するなどの環境整備を行いました。北陸新幹線金沢新幹線金沢開業の効果もあり、養浩館庭園、一乗谷朝倉氏遺跡ともに入場者が増加し目標を達成しました。

美術館の企画展では、アメリカのポップアートを始め、漫画等の原画や近代工芸、博物資料を美術の視点で見る展覧会など、多彩な事業を開催しましたが、企画展の魅力が伝えられず、入場者数の目標は達成することができませんでした。アトリエ事業では企画展と連携した気軽に楽しめる活動を展開し、申込者全員につくる喜びを体験していただきました。

郷土歴史博物館では、総入館者数、企画展入館者数とも目標を達成できました。また、ギャラリートークは目標を大きく上回って開催し、市民の郷土福井への関心と興味を深めることに努めました。

## Ⅷ. 自然科学教育の推進と中心市街地のにぎわいと交流を目的に、自然史博物館分館の整備を進めます

平成 28 年 4 月の開館に向けて、自然史博物館分館の整備と運営体制などの準備を進め、ハピリン関係機関と協力してプロモーション事業を実施しました。また、JAXA（独立行政法人宇宙航空研究開発機構）と連携した宇宙教育や、福井駅前の天体観望会、特別展「宇宙への旅立ちーはやぶさ2と宇宙飛行士ー」を開催するなど、宇宙や天文に関する事業を実施しました。

さらに、国立科学博物館や民間の研究者などと連携した企画展を開催しました。

# I. 気がかりな児童生徒を支援し、子どもたちが生き生きと学校生活を送るための充実し

## た学校教育を行います

1	<b>地域と連携した学校づくり</b>	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>一人ひとりの子どもの育ちを支えていくために、教育活動を地域に公開し、学校、家庭、地域のつながりを強めるとともに、三者が一体となって子どもたちの教育について考え、行動する気運をさらに高めます。</p> <p>また、各中学校生徒代表が活動の発表や意見交換を行い、相互交流と学校や地域に対する理解を深める中学生サミットを開催します。</p>		
<b>取 組 内 容</b>	<p>○各小中学校において、保護者や地域と連携した授業や活動の実施</p> <p>○各小中学校において、地域・学校協議会の開催</p> <p>○「教育ウィーク」(10月～11月)の市民への周知・広報及び授業公開や活動の実施</p> <p>○「福井市中学生サミット」の開催(10月13日)</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>	<b>結 果 ・ 成 果</b>		
<p>ゲストティーチャーを招いた授業の実施</p> <p>： 全小学校(1学級当たり 延べ6人)</p> <p>全中学校(1学級当たり 延べ5人)</p> <p>教育ボランティアの活用</p> <p>： 全小学校(1学級当たり 延べ31人)</p> <p>全中学校(1学級当たり 延べ13人)</p> <p>地域・学校協議会の開催</p> <p>： 全小中学校(1校当たり 3回)</p> <p>教育ウィークの開催 : 全小中学校(1週間)</p> <p>園児・児童・生徒間の交流</p> <p>： 全小中学校(1校当たり 10回)</p> <p>中学生サミットの開催</p> <p>： 1回(全中学校 生徒代表各2名)</p>	<p>ゲストティーチャーを招いた授業の実施</p> <p>： 全小学校(1学級当たり 延べ6人)</p> <p>全中学校(1学級当たり 延べ5人)</p> <p>教育ボランティアの活用</p> <p>： 全小学校(1学級当たり 延べ31人)</p> <p>全中学校(1学級当たり 延べ13人)</p> <p>地域・学校協議会の開催</p> <p>： 全小中学校(1校当たり 3回)</p> <p>教育ウィークの開催 : 全小中学校(1週間)</p> <p>園児・児童・生徒間の交流</p> <p>： 全小中学校(1校当たり 10回)</p> <p>中学生サミットの開催</p> <p>： 1回(全中学校 生徒代表各2名)</p>		
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>全ての小中学校で、10月から11月に「教育ウィーク」を実施しました。市政広報や各学校のポスター掲示などを通して、市民への周知・広報を行いました。また、教育ウィーク中だけでなく、年間を通して、各幼稚園、小中学校では保護者や地域と連携した授業や活動を定期的に行いました。</p> <p>「福井市中学生サミット」は、全中学校の生徒代表2名が参加して実施しました。「未来の福井について語り合おう」をテーマに、関係者からの講話、福井駅西口再開発ビル、新栄テラス、グリフィス記念館の見学活動を基に、生徒同士が「未来の福井への考えや思い」をグループごとに意見交換したり、全体で協議内容を報告したりすることで、学校のリーダーとしての意識を高めました。</p> <p>来年度も、各中学校区で教育ボランティアなどを活用し、より地域との連携を深めていきます。また、地域団体の協力を得て、意義ある中学生サミットを開催していきます。</p>		

2	学力充実のための教育活動	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>全国トップクラスの小中学生の学力がさらに向上するように、一人ひとりの児童生徒に応じたきめ細かな指導を通して学ぶ意欲を引き出し、知識及び技能を活用して思考力・判断力・表現力を育み「確かな学力」の育成を図ります。</p> <p>また、学びの一貫性と確かな接続を目指して、保幼小連携や小中連携を中学校区ごとに目標を持って取り組みます。</p> <p>さらに、学校教育の諸問題に対応した教職員課題別研修等を実施して、教職員の資質向上を図ります。</p>		
<b>取 組 内 容</b>	<p>○全国学力・学習状況調査研究委員会の開催 8月21日、26日、28日、9月8日、10日</p> <p>○全国学力・学習状況調査結果の公表、リーフレット発行 9月30日</p> <p>○他校への授業公開や出前授業の実践 全小中学校（1校あたり5回）</p> <p>○小中学校合同研修会・授業研究会 中学校区ごとに3回</p> <p>○保幼小接続カリキュラムの編成と実施 全小中学校</p> <p>○学校図書館支援員の配置 22人</p> <p>○教職員課題別研修の受講</p> <p>○福井大学教職大学院拠点校における研究発表会の開催 中藤小学校1回 安居中学校1回</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>全国学力・学習状況調査リーフレット発行と配布 ： 全小中学校</p> <p>他校への授業公開や出前授業の実践 ： 全小中学校（1校当たり5回）</p> <p>小中学校合同研修会・授業研究会 ： 中学校区ごとに3回</p> <p>⑨保幼小接続プログラムの編成と実施 ： 全小学校</p> <p>学校図書館支援員の配置 ； 全小中学校</p> <p>教職員課題別研修の受講率 ； 100%</p> <p>福井大学教職大学院拠点校における研究発表会の開催 ； 小学校1回 中学校1回</p>		<p>全国学力・学習状況調査リーフレット発行と配布 ： 全小中学校（1回）</p> <p>他校への授業公開や出前授業の実践 ： 全小中学校（1校当たり5回）</p> <p>小中学校合同研修会・授業研究会 ： 中学校区ごとに3回</p> <p>⑨保幼小接続カリキュラムの編成と実施 ： 全小学校</p> <p>学校図書館支援員の配置 ； 全小中学校</p> <p>教職員課題別研修の受講率 ； 100%</p> <p>福井大学教職大学院拠点校における研究発表会の開催 ； 小学校1回 中学校1回</p>	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>指導改善に役立てるため、各学校の教員向けに全国学力・学習状況調査リーフレットを配布しました。各学校は、児童生徒の学習状況を把握・分析し、児童生徒への教育指導の指導改善などに役立てました。また、市全体の学力・学習状況を市のホームページで公表しました。学校と家庭や地域がそれぞれの成果と課題について、より具体的に把握し、更なる学力向上や円滑な学校運営を進めていきます。</p> <p>全小中学校に配置されている学校図書館支援員によって、図書館環境の整備がさらに進み貸出冊数が増加しました。</p> <p>各中学校区で、これまでの中学校区教育を土台にして、保幼小中の円滑な接続のために、交流授業や連絡協議会、合同研修会等を実施し、互いの理解が進みました。これまでの実践を踏まえて、来年度も継続して取り組んでいきます。</p>		

3	豊かな心の育成	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>道徳教育や人権教育の充実を図るとともに、次代を担う子どもたちが社会の一員としての自覚を持つために、人とのふれあい、自然とのふれあいなど、様々な体験を通して豊かな心を育てます。</p>		
取 組 内 容	<p>○幼児演劇教室の開催 : 10月15日～16日(3回公演)  ○小学校の芸術鑑賞 : 12月1日～4日(ふれあい文化子どもスクール)  ○中学校能楽教室の開催 : 11月9日～10日(於:福井市文化会館、6回公演)  ○連合音楽会の開催(福井市文化会館)  小学校 : 6月25日～26日 4回  中学校 : 6月18日～19日 3回  ○国際交流作品展の開催 : 11月20日～26日(7日間)  ○各学校で福井市環境学習プログラムを作成  「福井市学校版環境ISO認定制度」の取組  教職員向け学習会(福井市教職員課題別研修)の実施(8月11日)  ○環境学習プログラムの一環として、取組内容の確認やアドバイスを目的に地域住民や市環境アドバイザーと市職員(環境課、学校教育課)が学校訪問(8月28日:本郷小、9月29日:足羽中、9月30日:足羽小、11月6日:下宇坂小、11月10日:社西小、2月4日:順化小)</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
幼児演劇教室の開催 : 2日間で3回公演 (公私立幼稚園・公私立保育園・認定こども園 5歳児対象)		幼児演劇教室の開催 : 2日間で3回公演 (公私立幼稚園・公私立保育園・認定こども園 5歳児対象)	
中学校能楽教室の開催 : 2日間で4回公演 (2年生全員対象)		中学校能楽教室の開催 : 2日間で4回公演 (2年生全員対象)	
連合音楽会の開催 : 2日間で4回(全小学校) 2日間で3回(全中学校)		連合音楽会の開催 : 2日間で4回(全小学校) 2日間で3回(全中学校)	
国際交流作品展の開催 : 7日間		国際交流作品展の開催 : 7日間	
福井市環境学習プログラムの取組 : 全小中学校		福井市環境学習プログラムの取組 : 全小中学校	
成 果 ・ 課 題	<p>幼児演劇教室、中学校能楽教室では、多くの幼児・児童生徒が本格的な演劇や伝統芸術に触れる良い機会となりました。小学校については、県が実施する鑑賞事業を活用し、高学年を中心に本物の演劇や音楽を味わうことができました。</p> <p>連合音楽会や国際交流作品展では、音楽や美術、書道の作品を通して交流を図ることができました。来年度も、従来の市事業とあわせて、県や国の鑑賞事業の積極的活用を各学校に呼びかけていき、幼児、児童生徒が音楽、美術、伝統芸術にふれる機会を提供していきます。</p> <p>全幼小中学校で、「ESD(持続可能な開発のための教育)」の考え方を取り入れた「福井市環境学習プログラム」に取り組みました。来年度も、学校での環境学習に取り組んでいきます。</p>		

4	幼児教育の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>幼児一人ひとりが多様な体験を通して、調和のとれた成長ができるようにします。  また、保幼小の円滑な接続を図り、幼稚園や保育所における教育の成果が小学校につながるように就学前教育を支援して質の高い幼児教育を提供し、園児及び保護者の満足度の向上を図ります。</p>		
取 組 内 容	<p>○交流保育の開催 : 9月9日(5歳児)、9月16日(5歳児)、9月16日(3・4歳児)  9月29日(3・4・5歳児合同)(延べ4回)  ○みんなで遊ぼう会の開催 : 7月31日、8月4日、8月7日(延べ3回)  ○わくわく交流デーの開催 : 小学校ごとに1回(2月)</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
交流保育の開催	: 延べ3回	交流保育の開催	: 延べ3回
みんなで遊ぼう会の開催	: 延べ3回	みんなで遊ぼう会の開催	: 延べ3回
わくわく交流デーの開催	: 全小学校	わくわく交流デーの開催	: 全小学校
成 果 ・ 課 題	<p>近隣園が集う「交流保育」や、希望園が集う「みんなで遊ぼう会」を通して、友達と一緒に心を動かす体験を共有し、友達の良さに気づき、大勢のいろいろな友達と遊ぶ楽しさを味わわせることができました。</p> <p>来年度は、「みんなで遊ぼう会」を「夏の交流保育」、これまでの「交流保育」を「秋の交流保育」とし、近隣園の同じメンバーで交流を重ねていきます。</p> <p>小学校一日体験「わくわく交流デー」を実施することで、園児は小学生との交流や授業体験などを通して、入学を楽しみにする気持ちを持つことができました。保護者も一緒に参加して小学校の様子を知ること、お子さんの小学校入学に対する不安を解消する場になりました。</p> <p>来年度も、各小学校区において作成する保幼小接続カリキュラムの中に位置づけて、実施していきます。</p>		

5	特別支援教育の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>福井市特別支援教育専門委員会を中心に就学前から特別支援教育体制の整備に努め、特別支援教育コーディネーターが中心となって、各学校の指導計画と教育支援計画を作成し、保育園、幼稚園、小学校、中学校間の円滑な移行支援を図ります。</p> <p>また、障がい児の就学や支援について、教育支援委員会を設置して就学相談及び教育相談を行います。</p> <p>さらに、いきいきサポーターを必要に応じて学校に配置し、発達障がい等で特別な配慮が必要な児童生徒に個別の支援を行います。</p>		
	取 組 内 容	<p>○特別支援教育専門委員会の開催（5月28日、8月5日、1月5日、3月4日）：計4回</p> <p>○特別支援教育コーディネーターを全小中学校に100人配置</p> <p>○小中学校の特別支援教育コーディネーター対象に連絡会の開催（4月24日）</p> <p>○市全域協議会の開催（6月17日、8月18日、1月27日）：計3回</p> <p>○平成28年度就学児相談会（7月27～29日）、既就学児童生徒相談会（8月10・11・12日）各3日間開催</p> <p>○教育支援委員会の開催（4月15日、5月14日、7月2・23・30日、9月16日、2月18日）計7回</p> <p>○いきいきサポーターを市内小中学校に72人配置</p> <p>○7月、8月に開催された就学相談会を受けて、継続的に就学相談を実施</p>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>特別支援教育専門委員会の開催 : 4回</p> <p>特別支援教育コーディネーターの指名 : 100人（全小中学校配置）</p> <p>特別支援教育コーディネーター連絡協議会の開催 : 3回</p> <p>教育支援委員会の開催 : 7回</p> <p>いきいきサポーターの配置 : 65人</p>		<p>特別支援教育専門委員会の開催 : 4回</p> <p>特別支援教育コーディネーターの指名 : 100人（全小中学校配置）</p> <p>特別支援教育コーディネーター連絡協議会の開催 : 3回</p> <p>教育支援委員会の開催 : 7回</p> <p>いきいきサポーターの配置 : 72人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>福井市特別支援教育専門委員会では、医療、福祉、教育の各分野から障がいのある人が継続的に支援を受けられるよう、情報を伝達するために「子育てファイル ふくいっ子」の活用について話し合いました。併せて、市全域協議会では、特別支援教育コーディネーターを対象に研修を行いました。今後も、個別の指導計画を作成、活用して児童生徒への支援を充実させていきます。</p> <p>教育支援委員会では、年2回（7月、8月）就学相談会を実施し、その後は、必要に応じて継続的に相談を行いました。</p>		
	<p>いきいきサポーターによる支援は、児童生徒の学校生活において、安全面の配慮、情緒の安定、日常生活の支援の面で効果が見られています。</p>		

6	気がかりな児童生徒への支援の充実	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>児童生徒の豊かな情操と道徳心を培い、心の通う対人交流の能力の素地を養うことで、問題行動の未然防止に努めます。</p> <p>また、気がかりな児童生徒を支援するために、実効性のある指導体制や組織的な相談体制を構築し、家庭、地域、学校及び各関係機関が情報を共有して、取組の検証や協議を行い、適切な支援体制づくりに努めます。</p>		
	取 組 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内全小中学校において「いじめ防止基本方針」の見直し</li> <li>○指導主事訪問における「いじめ防止基本方針」の確認および助言</li> <li>○訪問要請における学校支援</li> <li>○子どものネット危険対策プランの策定</li> <li>○学校不適応対策推進会議の開催（7月21日、12月24日、2月25日）</li> <li>○生徒指導主事連絡会における事例検討会の開催（11月12日、12月10日）</li> <li>○いじめ問題対策連絡協議会の開催（1月20日）</li> </ul>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>学校不適応対策推進会議の開催 : 3回</p> <p>⑨子どものネット危険対策プランの策定</p>		<p>学校不適応対策推進会議の開催 : 3回</p> <p>⑨子どものネット危険対策プランの策定 : 2月</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>いじめ問題対策連絡協議会において、児童生徒がインターネット利用時の危険性を知り、親子で一緒にルール作りを推進することを目的に、「子どものネット危険対策プラン」を策定しました。来年度は、市政広報を活用し、広く市民にルール作りの広報を行います。</p> <p>学校不適応対策推進会議では、福井市適応指導教室「チャレンジ教室」の活動や学校不適応の児童生徒・保護者・関係者に対する支援のあり方について協議しました。</p> <p>来年度も、引き続き推進会議を開催し、不登校児童生徒への支援のあり方を検討していきます。</p>		

7	国際理解教育の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>小学校外国語活動のために、すべての小学校の5・6年生の学級にALTを派遣します。 また、小学校3・4年生に対してはFCAを派遣し、総合的な学習の時間を利用して国際理解教育を行います。</p>		
取 組 内 容	<p>○小学校専属ALT8人が2週間に1回の割合で訪問 ○FCA4人が2カ月に1回の割合で訪問</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>ALTの年間派遣回数（1学級当たり） ： 22回（26年度）→ 24回（27年度） FCAの派遣（1学級当たり） ： 3・4回（26年度）→ 4回以上（27年度）</p>		<p>ALTの年間派遣回数（1学級当たり） ： 24.05回（4,281回/178クラス） FCAの派遣（1学級当たり） ： 4.04回（731回/181クラス）</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>小学校外国語活動にALTが入ることにより、小学5・6年生が生英語に触れ、英語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、また、外国の言語や文化について理解を深められるようになりました。 小学3・4年生は、FCAの授業により、アメリカの文化について理解を深めました。また、4年生対象の「英語に慣れ親しむ活動」では、担任を支援することができました。 来年度は、平成30年度から始まる高学年での英語教科化と中学年での外国語活動導入に備え、ALT及びFCAと教員の連携のあり方について検討していきます。</p>		

8	情報教育と教育の情報化の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>これからの時代を生きる子どもたちのために、タブレット PC 等のデジタル機器を活用した授業を行います。</p> <p>また、ICT環境を有効に活用した学力・情報活用能力の向上、教育事務の効率化を図り、子ども一人ひとりにとってより効果的な学習を行います。</p>		
取 組 内 容	<p>○ICT機器を活用した授業を全小中学校で実施</p> <p>○教職員課題別研修において、ICTの研修を開催（8月20日）</p> <p>○タブレット導入校(3校)において、タブレット活用の研修を開催（9月14日）</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
ICT機器を活用した授業の実施	全小中学校	ICT機器を活用した授業の実施	全小中学校
教職員向けICTの研修	1回	教職員向けICTの研修	1回
成 果 ・ 課 題	<p>ICT機器を活用した授業では、プレゼンテーションソフトを利用し、授業の課題や前回の学習を提示したりして、授業の導入に活用しています。また書画カメラで撮影した子どものノートをスクリーンに提示して、考え方を発表させて共有します。タブレットでは、体育で跳び箱をする運動を撮影し、見本と見比べたり、理科の実験に活用したりしています。</p> <p>また、教職員課題別研修において、コンピュータソフト活用におけるメリット・デメリットに関する研修を実施しました。</p> <p>タブレット導入校に対して、タブレットおよび、インストールされたソフトの活用の研修を行い、普段の授業等で、効果的な活用がみられました。</p> <p>来年度も残りの小学校に向け、同研修を行う予定です。</p>		

## II. 学校における安全対策を充実し、食育と運動部活動、体力向上を推進して、子どもたちの心身の健全な発達に努めます

9	安全対策の充実	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>全小中学校において、危機管理マニュアル、校区内の安全マップの見直しを実施し、実態に合わせ充実させるとともに、家庭、地域、学校が相互に協力して子どもの安全を守ります。</p> <p>また、通学路安全対策として、通学路交通安全プログラムに基づく取組を計画的に行うとともに、各種訓練を実施し災害発生時に備えます。</p> <p>さらに、警察等の協力を得て、防犯教室や不審者対応訓練を実施し、自ら安全に注意する力をつけられるように指導を行い、全小中学校においてそれぞれの年齢に応じた安全教育を実施します。</p>		
取 組 内 容	<p>○危機管理マニュアル・安全マップの見直し : 全小中学校</p> <p>○通学路安全推進会議の開催及び合同点検の実施 : 各1回(7月27日、8月31日)</p> <p>○津波被害が想定される学校での津波対応避難訓練の実施 : 4校</p> <p>○児童・生徒・教職員の防犯訓練等の実施 : 全小中学校</p> <p>○安全教育の実施 : 全小中学校</p>		
<b>数 値 指 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<b>目 標</b>			
<p>危機管理マニュアル・安全マップの見直し : 全小中学校</p> <p>⑨ 通学路安全推進会議の開催及び合同点検の実施 : 各1回/Bグループ</p> <p>津波被害が想定される学校での津波対応避難訓練の実施 : 4校(国見小・中、長橋小、越廼中)</p> <p>児童・生徒・教職員の防犯訓練等の実施 : 全小中学校</p> <p>安全教育の実施 : 全小中学校</p>	<p>危機管理マニュアル・安全マップの見直し : 全小中学校</p> <p>⑨ 通学路安全推進会議の開催及び合同点検の実施 : 各1回/Bグループ</p> <p>津波被害が想定される学校での津波対応避難訓練の実施 : 4校(国見小・中、長橋小、越廼中)</p> <p>児童・生徒・教職員の防犯訓練等の実施 : 全小中学校</p> <p>安全教育の実施 : 全小中学校</p>		
成 果 課 題	<p>児童生徒や教職員が、災害や犯罪など、突発的な場面において敏速かつ適確に対応できるように、各種の訓練等を実施しました。また、その他自然災害や不審者、交通災害等、あらゆる危機事象への判断・対応する能力が大切となっています。今後も、訓練だけでなく学習場面を活用して、日頃から防災、防犯教育を進めていきます。</p> <p>通学路関係では、推進会議や合同点検を実施し、関係機関における安全対策の実施及び今後の計画を調整し、報告しています。希望する対策が困難な場合であっても、児童生徒の安全確保のため可能な対策を検討し対応していきます。また、関係機関の対応については、今後も進捗状況を定期的に確認し、安全対策箇所の管理を行っていきます。</p>		

10	楽しくおいしい学校給食の実施	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>子どもたちに安全・安心で楽しくおいしい学校給食を提供していくために、地場産食材や郷土料理を取り入れ、和食を推進するとともに、献立を工夫して子どもたちの嗜好を考えた給食づくりに努めます。</p> <p>また、学校においては、栄養教諭及び学校栄養職員を中心に、教職員が連携して子どもの発達段階に応じた、給食の献立を活かした食育指導を推進し、食生活が多くの人々の努力により支えられていることの理解を深め、感謝の心を育みます。</p>		
取 組 内 容	<p>○福井市産農産物使用品目数 : 20 品目</p> <p>○「和食」献立の推進 : 56.6%</p> <p>○石塚左玄にちなんだ献立及び給食指導の実施 : 2 回 (6 月 3 日、11 月 24 日)</p> <p>○食育体験学習 (料理教室・稲作等) 実施校への支援 : 25 校</p> <p>○「食に関する指導の全体計画」に基づく食育推進の実施 : 全小中学校</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>福井市産農産物使用品目数 : 19 品目 (26 年度) → 20 品目以上 (27 年度)</p> <p>「和食」献立の推進 : 年間 50%以上</p> <p>⑨石塚左玄にちなんだ献立及び給食指導の実施 : 年 2 回</p> <p>食育体験学習 (料理教室・稲作等) 実施校への支援 : 25 校</p> <p>「食に関する指導の全体計画」に基づく食育推進の実施 : 全小中学校</p>		<p>福井市産農産物使用品目数 : 20 品目</p> <p>「和食」献立の推進 : 年間 56.6%</p> <p>⑨石塚左玄にちなんだ献立及び給食指導の実施 : 年 2 回</p> <p>食育体験学習 (料理教室・稲作等) 実施校への支援 : 25 校</p> <p>「食に関する指導の全体計画」に基づく食育推進の実施 : 全小中学校</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>福井市産食材も 20 品目取り入れることができ、学校給食において地産地消の推進に貢献することができました。給食に地場産食材を取り入れることにより安全安心な学校給食の実施や食育に結びつくため、今後も関係機関と連携し地産地消の推進に努めます。</p> <p>和食献立の推進については、旬の食材を使った、だし、しょうゆ、みそをベースとした味付けの献立を取り入れることにより、給食をおいしく味わうことができ、さらに和食を伝承していくことにつながる取組になりました。今後もこの取組を継続して実施していきます。また、食育の祖である石塚左玄にちなんだ献立や給食指導、食育体験学習により、食の栄養、安全などの正しい知識を身につけるとともに、それに基づく食生活が心身ともに健全な人間をつくることについて意識を高めることができました。</p> <p>今後も地産地消や食育推進に努めるとともに、楽しくおいしい給食の実施に向けてさらに工夫して取り組みます。</p>		

11	 体力向上の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>児童生徒が主体的に運動に親しみ、全国トップクラスの体力を向上させるために、児童生徒体力づくり推進計画書を作成し、教科体育や特別活動、その他教育活動全般における運動の取組を進めます。また、毎年実施する「全国体力・運動能力調査」の結果を分析するとともに、学校において今後の改善策を考察し、体力向上を推進します。</p>		
取 組 内 容	<p>○児童生徒体力づくり推進計画書の作成及び計画書に基づく運動の取組：全小中学校 ○体力・運動能力調査の結果に基づく考察：全小中学校</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
児童生徒体力づくり推進計画書の作成 ： 全小中学校		児童生徒体力づくり推進計画書の作成 ： 全小中学校	
成 果 ・ 課 題	<p>全小中学校が計画書を作成し、各学校において体力・運動能力調査の結果に基づく考察をするよう指導しています。その結果、例えば握力が弱ければ、準備運動の中にグーパー体操や登り棒、肋木、うんていを加える、持久力が弱ければ休み時間を利用して実施するマラソンの回数を増やすなど、弱い項目を伸ばすための取組を充実させるなどして、体育の授業や教育活動に取り組みました。</p> <p>全国体力・運動能力調査の結果、平成 27 年度も福井県は小中学校男女ともに 1 位という結果であり、今後も考察した結果を翌年度の計画書に反映して取組を継続し、体力の向上を図っていきます。</p>		

12	中学校運動部活動の充実	達成度																	
<b>実 行 内 容</b>																			
目 標	<p>高度な指導力を持つ地域の指導者を積極的に活用するとともに、一流指導者（トップアスリート）による実技講習会を通して、中学校運動部活動の充実を図ります。</p> <p>学校においては、運動部活動における体罰の根絶、指導の内容や方法について見直し・検討を進め、指導力を高めるよう努めます。</p>																		
取 組 内 容	<p>○外部の専門指導者派遣数 : 40人 (20 中学校)</p> <table border="0" data-bbox="239 533 1129 683"> <tr> <td>【指導種目】</td> <td>ハンドボール</td> <td>バスケットボール</td> <td>バドミントン</td> </tr> <tr> <td></td> <td>軟式野球</td> <td>バレーボール</td> <td>サッカー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ソフトテニス</td> <td>ソフトボール</td> <td>陸上競技</td> </tr> <tr> <td></td> <td>柔道</td> <td>剣道</td> <td>卓球</td> </tr> </table> <p>○一流指導者（トップアスリート）による講習会の開催 : 2回</p> <p>【種目】 女子バドミントン (11月7日 明道中体育館)  指導者：ヨネックス 鈴木 温子氏、櫻本 絢子氏  参加者：生徒 65名 指導者 13名</p> <p>【種目】 女子バスケットボール (11月29日 灯明寺中体育館)  指導者：女子バスケットボール元日本代表 永田 睦子氏、楠田 香穂里氏  参加者：生徒 92名 指導者 15名</p> <p>○運動部活動の全体計画の作成 : 全中学校</p> <p>○運動部活動指導の校内研修の実施 : 全中学校</p>			【指導種目】	ハンドボール	バスケットボール	バドミントン		軟式野球	バレーボール	サッカー		ソフトテニス	ソフトボール	陸上競技		柔道	剣道	卓球
【指導種目】	ハンドボール	バスケットボール	バドミントン																
	軟式野球	バレーボール	サッカー																
	ソフトテニス	ソフトボール	陸上競技																
	柔道	剣道	卓球																
<b>数 値 指 標</b>																			
<b>目 標</b>	<b>結 果 ・ 成 果</b>																		
外部の専門指導者派遣数 : 40人 一流指導者（トップアスリート）による講習会の開催 : 2回 運動部活動の全体計画の作成 : 全中学校 運動部活動指導の校内研修の実施 : 全中学校	外部の専門指導者派遣数 : 40人 一流指導者（トップアスリート）による講習会の開催 : 2回 運動部活動の全体計画の作成 : 全中学校 運動部活動指導の校内研修の実施 : 全中学校																		
成 果 ・ 課 題	<p>外部の専門指導者については、40人が指導に当たり、生徒の競技力の向上と運動部の活性化に貢献しました。また、外部指導者は、技術指導だけでなく指導者としての資質が必要であるため、県主催の「運動部活動指導者研修会」を受講しました。</p> <p>トップアスリートによる実技講習会を2回実施し、一流指導者の直接的指導を受けたことにより、参加部員のトレーニング意識の向上とスキル習得に寄与することができました。指導の成果は、短期的に効果が現れるものではありませんが、生徒の意欲や意識の向上が維持されることにより、競技力の向上につながるため、今後も継続していきます。</p> <p>また、学校内においても運動部活動の全体計画の作成や指導者の校内研修により、日常的な部活動の場における指導の内容や方法を充実させることができました。今後も運動部活動指導の充実のため、継続して実施していきます。</p>																		

13	学校保健の充実	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>多様化する健康課題を的確に把握するため、児童生徒の健康診断、就学時健康診断を実施します。また、健康なライフスタイルを確立していけるように、児童生徒が心身の健康保持増進に必要な知識、能力、生活習慣を身につけるため、学校保健委員会を開催するとともに、学校等と連携を密にしながら保健学習や保健指導などの健康教育を推進します。</p>		
<b>取 組 内 容</b>	<p>○定期健康診断（長期欠席者を除く）・就学時健康診断の実施 ○学校保健委員会の開催　：　全小中学校</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>定期健康診断（長期欠席者を除く）・就学時健康診断の受診率　：　100% 学校保健委員会の開催　：　全小中学校</p>		<p>定期健康診断（長期欠席者を除く）・就学時健康診断の受診率　：　100% 学校保健委員会の開催　：　全小中学校</p>	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>定期健康診断や就学時健診において目標を達成することができました。学校における健康診断は、学業やこれからの発育に差し支えの出るような疾病がないか、他の人に影響を与えるような感染症にかかっていないかを見分けるスクリーニングとして、まず受診することが重要です。今後も、児童生徒自身や保護者が健康診断の意義を理解し、自らの健康のために積極的に定期健康診断を受診するよう促すとともに、結果に基づく精密検査受診勧奨など学校の対応を支援していきます。また就学時健康診断についても、保健上必要な助言及び就学の指導を行い、安心して入学が迎えらるよう努めます。</p> <p>学校保健委員会は全小中学校において実施することができました。これにより、児童生徒が心身の健康保持増進に必要な知識、能力、生活習慣を身につけるなど、健康づくりを推進することができました。今後も継続して実施していきます。</p>		

### Ⅲ. 家庭や地域、関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成を進めます

14	放課後児童クラブの整備	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	共働き家庭や核家族が増加している中、放課後留守家庭児童を健全に育成し、保護者が安心して仕事に専念できる環境を整えます。平成 27 年度から子ども・子育て支援新制度が施行され、事業の対象が小学校全学年に拡大されたことから、子育て支援事業計画に基づき小学校余裕教室や市有施設の改修等を行い、児童クラブの整備・運営を進めます。		
取組内容	<p>○平成 27 年 4 月現在、児童クラブは 66 箇所（28 放課後児童会、38 児童クラブ 平成 26 年度より 9 箇所増）で開設</p> <p>○年度当初に入会できなかった支援の必要な児童について、長期休業中に他地区の放課後児童クラブを斡旋</p> <p>○2 地区の児童クラブにおいて平成 28 年度当初から開設するための準備（地区：森田、上文殊）</p> <p>○2 地区の放課後児童会の小学校移転のための施設整備（地区：足羽、春山）</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
放課後児童クラブの受入率 : 100%		放課後児童クラブの受入率 : 100% (平成 28 年度入会希望者)	
成 果 ・ 課 題	<p>平成 27 年度当初は 3 地区で待機がありましたが、夏季休業までには入会希望者全員を受け入れることができました。また、平成 28 年度の受入に向けて、需要が高い森田地区と事業未設置地区であった上文殊地区の児童クラブの整備や、木田、明新、松本地区の児童クラブスペースの拡充を行い、年度当初に児童を 100%受入できるようにしました。</p> <p>事業推進に当たっては職員の十分な確保が課題であり、児童クラブ運営者が職員を確保しやすいよう、市政広報やホームページで職員募集の広報を行いました。</p> <p>今後も、予測数に基づき将来受入数の不足が予想される地区については、引続き整備を進めていきます。</p>		

15	キャリア教育の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>児童生徒一人ひとりが将来に向けた勤労観や職業観を身につけるため、保護者の働く事業所や地域の企業の協力を得て、小学生の職場見学及び中学生の職場体験を実施します。 また、中学生の職場体験学習が円滑に進むよう、企業関係団体等との連絡協議会を開催します。</p>		
	取 組 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小学校においては職場見学、中学校においては職場体験学習を実施</li> <li>○キャリア教育連絡協議会（商工会議所等）の開催（4月14日、8月27日）</li> <li>○キャリア教育連絡協議会（商工会議所等）による中学校職場体験学習受入支援</li> <li>○青年会議所との定期連絡会を通して、学校と企業・団体との連携</li> <li>○教職員課題別研修において、キャリア教育を内容とする研修を実施</li> </ul>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>小学生の職場見学の実施 ： 全小学校（1校当たり1日） 中学生の職場体験の実施 ： 全中学校（1校当たり2.5日） キャリア教育連絡協議会の開催 : 4回</p>		<p>小学生の職場見学の実施 ： 全小学校（1校当たり1日） 中学生の職場体験の実施 ： 全中学校（1校当たり2.6日） キャリア教育連絡協議会の開催 : 4回</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>今年度は、福井経済同友会、福井商工会議所青年部、福井青年会議所の3団体に加え、市労政課と連携し、受入企業の仕事内容や受入時期などの情報を掲載した受入リスト（事業所数60）を全中学校に配布しました。昨年度の課題だった学校への受入リスト提示を早めに行うことに努め、より円滑な職場体験学習が行われるよう調整しました。</p> <p>来年度は、より地域に密着した職場体験学習の展開と、事業所と学校とのマッチングを効率化することを進めます。</p>		

16	家庭教育の支援	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>すべての公民館において、親子の成長や学びを支えるため親を主な対象に「家庭教育事業」を実施します。 また、小学校で、親意識の高揚や親として必要な知識、心構えの習得など、親力の向上を図るため「親学講座」を実施します。</p>		
	取 組 内 容	<p>○公民館教育事業「家庭教育事業」 家庭教育を担う親等を主な対象に、中央公民館及び地区公民館（一光公民館を除く）全 48 館において実施 〔内 容〕 中央公民館：子育てサポートリーダー養成 地区公民館：子育て講演会・相談会、親子料理教室・体操教室、食育教室、乳幼児健康講座、読み聞かせ など</p> <p>○親学講座開催事業 小学校における就学时健康診断等の機会を利用しながら、親意識の高揚や親として必要な知識、心構えの習得など、親力の向上を中心とした学習機会を提供 〔講 師〕 社会教育指導員、元校長、臨床心理士、スクールカウンセラー、NPO法人講師 など</p>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>「家庭教育事業」実施公民館数 : 全公民館 親学講座開催事業実施数 : 31回(26年度) → 35回(27年度)</p>		<p>「家庭教育事業」実施公民館 : 全公民館 親学講座開催事業実施数 : 36回</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>公民館教育事業「家庭教育事業」は、一光公民館を除く全ての公民館で実施しました。今後も、地域の保育園、幼稚園、小中学校、子育て支援委員会などと連携を図りながら、充実した学習内容を継続的に提供していきます。</p>		
	<p>親学講座開催事業は、就学前児童及び小学生の保護者を対象とし、校長会等を通じ開催を依頼しました。その結果、目標を上回る 36 回の開催となりました。 今後も、より一層学校関係者への周知に努めるとともに、保護者会等の機会も活用して、実施数の増加を図り、親力の向上に努めます。</p>		

17	地域の青少年健全育成の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>子どもたちが事件や事故に巻き込まれないように、青少年育成福井市民会議の支部で展開する見守り活動や、かけこみ所の点検・整備、地域の大人と子どもの交流、子どもの危険回避能力を高める取組などを支援します。</p> <p>また、家庭や地域、関係機関・団体の連携を深め青少年の健全育成を推進します。</p>		
<b>取 組 内 容</b>	<p>○青少年育成福井市民会議の支部活動を支援</p> <p>&lt;支部活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の「見守り隊」による小中学生の通学時見守り活動を実施</li> <li>・7月4日（土）を統一実施日に定め、環境浄化一斉点検を実施</li> <li>・大人と子どもの顔が見える関係づくりのため、青少年育成に係る地域コミュニティ活動（大人と子どものニコニコ交流会）を、見守り隊の方への感謝のつどいを兼ねて年度末に開催</li> </ul> <p>&lt;本部活動&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもが犯罪にあわないために」と題し防犯に関する講習会を開催</li> <li>・見守り活動中に着用する腕章や啓発グッズを配布</li> <li>・青少年育成推進員の役割についての認識を深めるため、紹介記事を「福井市民会議だより」に掲載し市民への啓発に努めた</li> </ul>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
青少年育成に係る地域コミュニティ活動の実施 : 全支部 見守り活動の実施 : 全支部 環境浄化一斉点検の実施 : 全支部		青少年育成に係る地域コミュニティ活動の実施 : 全支部 見守り活動の実施 : 全支部 環境浄化一斉点検の実施 : 全支部	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>行政、家庭、地域、関係団体が協力し合い、見守り活動や大人と子どものニコニコ交流会などにより、安全・安心な環境の維持が図られました。また、環境浄化一斉点検については、学校や市・県・国が実施する通学路交通安全プログラムと重複しないよう、役割を分担し連携を図りながら各支部の活動を推進しました。</p> <p>来年度も、子ども自らが危険を回避する能力を高めることが重要であるため、講習会などを企画・実施して子どもを見守る地域の大人の理解が深まるよう努めます。</p>		

18	家族ふれあいの推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>家族のふれあいの大切さを広報・啓発し、円滑な親子関係や思いやりのある明るい家庭づくりを推進し、家庭の教育力の向上を図ります。</p> <p>また、規則正しい生活習慣をつくるため、関係機関と協力しながら、小中学生やその保護者を対象に規範意識を高めるための啓発や講習会を開催し、会話による家族のふれあいやコミュニケーションの大切さを呼びかけます。</p>		
取 組 内 容	<p>○家族ふれあいの推進のための啓発活動を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子で話す機会を増やすための啓発グッズ（サイコロ型卓上カレンダー）を作製 全小学校4年生に配布</li> <li>・「家族ふれあい」絵手紙コンクールの実施 作品募集：6月～9月 応募数：3,244点 作品審査会：9月24日 入賞作品50点を選出表彰式：10月31日 作品展示：10月31日～11月19日（福井市美術館、福井中央郵便局にて）</li> <li>・規範意識の講習会 <ul style="list-style-type: none"> <li>①情報モラル講習会 講師派遣：小学校：26校/中学校：15校/他機関(ふれあい園他)5機関 教員対象：3回 保護者対象：27回（児童生徒対象も含む）</li> <li>②ひまわり教室：小学校：36校/中学校：20校</li> </ul> </li> </ul>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
「家族ふれあい」絵手紙コンクールの応募数 ： 2,560点（26年度）→ 3,000点（27年度） 親子で話す機会を増やすための啓発グッズ配布 ： 全小学4年生 小中学生等の規範意識を高めるための講習会の開催 ： 全小中学校		「家族ふれあい」絵手紙コンクールの応募数 ： 3,244点 親子で話す機会を増やすための啓発グッズ配布 ： 全小学4年生 小中学生等の規範意識を高めるための講習会の開催 ： 全小中学校	
成 果 ・ 課 題	<p>「家族ふれあい」絵手紙コンクールの応募数は、昨年より大幅に増加しました。一般の大人にも作品応募を呼びかけたことにより、コンクールの認知度も向上しました。今後も、家族のふれあいの大切さを継続して啓発する必要があることから、作品展示回数を増やすなど事業の推進に努めます。</p> <p>青少年のインターネット利用に関しては、ネット被害やネットによるいじめの他、ネット依存など危険性が危惧されており、児童生徒や教師対象は勿論、家庭が果たす役割が大きいことから、保護者対象の情報モラル講習会の開催を一層推進していきます。</p>		

19	自然を生かした体験学習の実施	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	子どもたちの自立性や豊かな感性を育むため、自然を活かした体験学習の場を提供します。安全で快適に少年自然の家を利用できるよう、老朽化した施設や設備の整備を計画的に進め、小中学校のニーズを調査しながら、外部から講師を招くなど魅力ある事業を実施します。		
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 受入事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校宿泊体験学習等の受け入れ（39 団体、4,375 人）</li> <li>・子ども会、スポーツ少年団など各種団体等が実施する野外・研修活動の受け入れ（87 団体、6,261 人 見込み）</li> </ul> </li> <li>○ 主催事業（15 回、499 人） <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学 4～6 年生対象の事業：8 月（2 泊 3 日）、2 月（1 泊 2 日）</li> <li>小学 1～6 年生と保護者対象の事業：4 月、10 月（1 泊 2 日）、12 月、3 月 計 6 回</li> <li>・ネイチャー寺子屋：11 月～3 月 計 9 回</li> </ul> </li> <li>○ 利用者増の取組等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・6 月に実施した小中学校へのアンケート調査を基に、少年自然の家オリジナルの「小さなかわいい黒板作り」など魅力ある新しいプログラムメニューの開発</li> <li>・外部講師を招いた事業増など魅力ある主催事業等を実施</li> <li>・桜木図書館とのコラボ事業（1 day ブックブックキャンプ）を 2 回実施（7 月、1 月）</li> <li>・11 月に朝倉トレイルランで地元の東郷・一乗地区と連携・協力</li> <li>・エンゼルランドふくいなどの児童関連施設へ事業募集チラシの配布や、無料広告媒体に事業開催記事の掲載</li> <li>・福井ケーブルテレビ「ふくチャンネル」で少年自然の家を P R</li> <li>「いきいき情報ふくい」の番組で、主催事業「秋のほのぼの親子体験塾」の活動を放映（10 月）</li> <li>少年自然の家のテレビコマーシャルを放映（11 月）</li> <li>・利用歴のある少年団体等に対し、パンフレットを同封するなど利用促進の宣伝活動を実施</li> <li>・外部講師を招いたサポーター育成研修を 2 回実施（6 月、9 月）</li> </ul> </li> <li>○ 施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本館 A 棟耐震補強工事の実施（12 月～2 月）</li> </ul> </li> </ul>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
少年自然の家年間施設利用者数 ： 9,452 人（26 年度）→ 12,700 人（27 年度）		少年自然の家年間施設利用者数 ： 11,129 人	
⑨ 外部講師を招いた事業回数 ： 5 回（26 年度）→ 7 回（27 年度）		⑨ 外部講師を招いた事業回数 ： 14 回	
成 果 ・ 課 題	<p>小中学校の受入事業では、昨年度と比べ小学校で 3 校 241 名増加したが、中学校では 1 校 79 名減少しました。主催事業は広報活動の強化や事業の見直しにより、殆どの講座において募集定員を超え、昨年度比で 4 回増やしたことで参加者は 217 名増となりました。</p> <p>また、青少年団体等の利用は、本館 A 棟の耐震補強工事期間中に約 3 週間利用できない期間があったものの、昨年度比で 16 団体 1,304 名（見込み）の増となりました。</p> <p>平成 28 年度は、利用者数の目標達成に向けて、小中学校の受入事業での新メニューの追加や市内外の中学校への利用促進を図って行きます。主催事業では、新たに公民館などと連携を図ります。</p> <p>また、青少年団体などの利用では、入・退所時間、食事時間の改善など弾力的な運用を行うとともに、体育器具の充実化、バーベキュー広場の芝生化など施設・設備の改善を進め、広報活動の強化と併せ利用者増に努めます。</p>		

#### IV. 施設の耐震化や老朽化に対応し、学校の環境整備に取り組みます

20	すべての学校施設の耐震化	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	子どもたちが安全に安心して学べるよう、耐震診断がC判定の校舎の補強事業を完了します。併せて、体育館の天井材などの非構造部材の耐震化（落下防止）事業を完了します。		
取 組 内 容	<p>○校舎・体育館耐震補強工事      実施済 24 校</p> <p>○非構造部材耐震化工事          実施済 25 校</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>学校校舎・体育館耐震補強工事 ： 小・中学校 合計 24 校</p> <p>学校校舎・体育館耐震化率 ： 90.4%（26年度）→ 100%（27年度）</p> <p>非構造部材耐震化工事   ： 小・中学校 合計 25 校</p> <p>非構造部材耐震化率 ： 66.6%（26年度）→ 100%（27年度）</p>		<p>学校校舎・体育館耐震補強工事 ： 小・中学校 合計 24 校</p> <p>学校校舎・体育館耐震化率 ： 100%</p> <p>非構造部材耐震化工事   ： 小・中学校 合計 25 校</p> <p>非構造部材耐震化率 ： 100%</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>校舎・体育館耐震補強工事は、小・中学校合わせて 24 校実施し、平成 24 年度から実施してきた耐震診断がC判定の校舎の補強事業を全て完了しました。</p> <p>体育館等非構造部材耐震化工事も、小・中学校合わせて 25 校実施し、平成 25 年度から実施してきた体育館の非構造部材の耐震化事業を全て完了しました。</p> <p>今後は、拠点避難所となっている小学校体育館の安全性を確保するため、窓ガラスの飛散防止対策に取り組みます。</p>		



## V. 市民一人ひとりの自主的な学習活動を支援し、市民憲章運動を進めます

22	公民館施設の整備	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	地域の生涯学習やコミュニティ活動の拠点施設として十分な機能が発揮できるよう、老朽化や狭あい度等を勘案しながら、公民館の計画的な整備を進めます。		
取 組 内 容	<p>○和田公民館移転新築工事 平成 28 年 3 月 18 日に全ての工事が完了し、平成 28 年 4 月に竣工式典を挙行予定 施設概要：鉄筋コンクリート造 2 階建、延床面積 746.11 m<sup>2</sup></p> <p>○美山公民館下味見分館増築改修工事 平成 28 年 1 月 20 日に全ての工事が完了し、平成 28 年 2 月 6 日に竣工式を挙行 施設概要：鉄筋コンクリート平屋建（多目的ホールは鉄筋造）、 延床面積 331.41 m<sup>2</sup>（うち、多目的ホール 155 m<sup>2</sup>）</p> <p>○中藤島公民館移転新築準備 平成 28 年度の新築工事に向けて、建設工事の実施設計が完了</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
公民館建設 : 2 館 和田公民館（移転新築） 美山公民館下味見分館（増築改修） 公民館建設準備 : 1 館 中藤島公民館 （用地造成、移転新築工事設計）		公民館建設 : 2 館 和田公民館（新築移転） 美山公民館下味見分館（増築改修） 公民館建設準備 : 1 館 中藤島公民館 （用地造成、移転新築工事設計）	
成 果 ・ 課 題	<p>和田公民館及び美山公民館下味見分館については、地区の公民館建設委員会と協議を重ねながら整備を進め、地区住民の意見を反映した施設を建設することができました。生涯学習や地域活動の拠点施設として広く活用していきます。</p> <p>中藤島公民館については、建設工事の実施設計が完了しました。来年度は建設工事に着手し、工事期間中の安全性の確保や公民館利用者の利便性に配慮しながら、年度内の完成を目指します。</p>		

23	公民館事業の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>市民の身近な生涯学習施設である公民館において、多様な学習ニーズや地域課題の解決を重視した各種教育事業を実施するとともに、自主グループ活動を支援します。</p> <p>また、地域のコーディネーターとして、人と人、人と地域を結ぶ公民館機能の充実に努めます。</p> <p>中央公民館が発行する冊子「福井市の公民館」やホームページ、メールマガジン等の広報媒体を積極的に活用して、公民館活動の情報提供を行います。</p>		
<b>取 組 内 容</b>	<p>○公民館教育事業</p> <p>市民の多様な学習ニーズや地域課題に応えるため、中央公民館及び地区公民館で各種学級・講座を実施</p> <p>〔実施数〕 567 講座</p> <p>〔内 容〕 家庭教育の支援のための学習、青少年の健全育成のための学習、若者の地域参画を促すための学習、郷土学習を支援するための学習、豊かな健康・長寿社会の実現のための学習 など</p> <p>○公民館自主グループ</p> <p>市民の多様な学習ニーズや地域課題に応えるため、中央公民館及び地区公民館で自主グループ活動を支援</p> <p>〔実施数〕 898 グループ</p> <p>○公民館における各種団体活動支援</p> <p>地区公民館を中心に自治会、PTA、体育振興会、壮年会、婦人会、社会福祉、地域づくりなど、多様な社会教育活動、住民活動を支援</p> <p>○「福井市公民館」の発刊</p> <p>「福井市の公民館」を年3回発刊（6月、10月、2月）</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>公民館利用者数</p> <p>： 902,611 人（26年度）</p> <p style="padding-left: 40px;">→ 906,000 人（27年度）</p> <p>公民館各種団体活動利用者数</p> <p>： 251,249 人（26年度）</p> <p style="padding-left: 40px;">→ 253,0000 人（27年度）</p> <p>公民館学級・講座及び自主グループ数</p> <p>： 1,426 グループ（26年度）</p> <p style="padding-left: 40px;">→ 1,430 グループ（27年度）</p>		<p>公民館利用者数</p> <p>： 916,393 人</p> <p>公民館各種団体活動利用者数</p> <p>： 271,481 人</p> <p>公民館学級・講座及び自主グループ数</p> <p>： 1,465 グループ</p>	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>公民館職員に対する研修内容の充実に努めるとともに、各地域のニーズに即した魅力ある学習プログラムによる教育事業の推進を図った結果、公民館利用者数及び各種団体活動利用者数は目標値を達成しました。</p> <p>今後も、現代社会や地域の実情に即した学習内容の充実に努めるとともに、地域のコーディネーターとして各種団体活動の支援を推進します。</p> <p>また、引き続き「福井市の公民館」を発刊していくとともにメールマガジン等を活用し、より一層の情報提供に努めます。</p>		

24	市民憲章運動の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>市民憲章唱和や福井を美しくする運動（市民一斉清掃）の実施などを通して、市民憲章運動のさらなる浸透を図ります。</p> <p>特に、平成 30 年の福井国体・全国障害者スポーツ大会の開催を見据え、美しいまち、花のあるまちを目指すとともに、おもてなしの心を養うことを目的に花いっぱい運動を推進します。</p>		
	取 組 内 容	<p>○福井を美しくする運動（市民一斉清掃）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏（7月12日（日）～19日（日））</li> <li>・冬（12月6日（日）～13日（日））</li> <li>・春（3月13日（日）～20日（日））</li> </ul> <p>○花いっぱい運動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花壇コンクール作品の募集 応募総数 160 件</li> <li>・花壇コンクール作品の審査（9月3日）</li> <li>・花壇コンクール表彰式と研修会（10月30日：アオッサ6階）</li> <li>・花壇コンクール優秀作品のパネル展示（11月2日～9日：福井西武店8階ホール）</li> </ul>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
成 果 ・ 課 題	<p>⑧福井市を美しくする運動参加者数 ： 34,879 人 (26 年度) → 40,000 人 (27 年度)</p> <p>花壇コンクール応募数 ： 136 件 (26 年度) → 140 件 (27 年度)</p>	<p>⑧福井市を美しくする運動参加者数 ： 53,066 人</p> <p>花壇コンクール応募数 ： 160 件</p>	
	<p>福井を美しくする運動は、自治会を中心にボランティアで行っており、毎年の行事として生活の中に溶け込んだ運動になっているものの、参加者の固定化の問題があり、天候によって左右されることがあります。不死鳥のねがい（福井市市民憲章）推進協議会の各支部を通して、市民がより一層運動へ参加するよう呼びかけます。</p> <p>花壇コンクールは、地区の個人・団体だけでなく学校や企業にも広く参加を募り、目標を上回る応募を得ました。より多くの企業から参加協力を得るため、青年会議所等の市民憲章関係団体や各業界団体との連携を目指します。また、参加者の技術とモチベーションアップにつなげるため、花壇づくり研修会を実施します。</p> <p>さらに、SNS活用による情報発信と、仁愛女子短期大学の学生と連携したホームページの作成を進めます。</p>		

25	福井学の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>誇りとなる地域資源を発信できる人材を育成し、個性と魅力に満ちたまちづくり、人づくりを進めるため、中央公民館において、福井市の歴史・文化・自然・産業・生活などを学ぶ「福井学講座」を実施します。</p> <p>また、地区公民館では、郷土への愛着や親しみを醸成し、郷土への誇りにつながる「郷土学習」に取り組めます。</p>		
	取 組 内 容	<p>○中央公民館での取組</p> <p>基礎講座 7 回、特別講座 1 回、公開講座 1 回を開催</p> <p>〔内 容〕 橋本左内の人となり学ぶ、ふるしきと日本のすまい、福井市自然史博物館分館の概要、永平寺のまちづくりに学ぶ、越前若狭の海の魅力、おもてなしの東郷地区を訪ねて など</p> <p>○地区公民館での取組</p> <p>地域の歴史や文化など誇れる地域資源について学ぶため、全ての公民館において郷土学習に関する事業を実施</p> <p>公民館まつりや地区文化祭等の機会を通じて学習成果を発表</p> <p>〔内 容〕 地区の歴史や郷土の偉人を学ぶ講座、地区内の歴史ウォーキング、郷土料理・伝統食材を学ぶ、米作りを学ぶ、門松づくり、子ども劇、御代参祭り鎧作り、歴史カルタ、底喰川観察 など</p> <p>○学習成果展示会の開催</p> <p>〔内 容〕 5 公民館の 26 年度を取組をパネル展示</p> <p>〔日時・場所〕 7 月 6 日～10 日 市役所 1 階市民ホール 7 月 11 日～17 日 アオッサ 5 階ギャラリー</p>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>福井学講座</p> <p>開催数 : 9 回</p> <p>参加者数 : 445 人 (26 年度) → 450 人 (27 年度)</p> <p>郷土学習事業</p> <p>実施公民館数 : 全公民館</p> <p>参加者数 : 9,161 人 (26 年度)</p> <p style="text-align: center;">→ 9,200 人 (27 年度)</p>		<p>福井学講座</p> <p>開催数 : 9 回</p> <p>参加者数 : 454 人</p> <p>郷土学習事業</p> <p>実施公民館数 : 全公民館</p> <p>参加者数 : 9,290 人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>郷土の誇る歴史や文化、自然、食などを学習する福井学推進事業を、すべての公民館で実施しました。また、学んだ成果は地区の祭りや公民館文化祭等を通じて発表しています。さらに、中央公民館は、多様な学習ニーズに対応した内容の講座を企画し、関係する地区公民館や団体と連携を図りながら事業を展開しました。</p> <p>今後は、本市の持つ魅力や特性を学ぶだけでなく、学んだ成果を対外的に発信できる人材の育成を目指します。</p>		

26	環境学習の推進	達成度													
<b>実 行 内 容</b>															
目 標	市民が地球環境や地域の環境問題について正しく理解し、環境意識の高揚を図るとともに、実践活動に結びつけることができる身近な学習機会として、公民館で「環境学習」を実施します。														
取 組 内 容	<p>○中央公民館 環境講座7回を開催 〔内 容〕 講演6回</p> <table border="0" data-bbox="619 571 1332 795"> <tr><td>6月20日</td><td>里山の果たす役割</td></tr> <tr><td>7月11日</td><td>大量生産・消費時代のプラスチックのゆくえ</td></tr> <tr><td>8月1日</td><td>毎日の食生活を考える</td></tr> <tr><td>9月19日</td><td>若手気象予報士から学ぶ福井の気候と天気</td></tr> <tr><td>11月21日</td><td>人と環境にやさしい公共交通とまちづくり</td></tr> <tr><td>12月19日</td><td>話し合い学習「環境まちづくりを学ぶ&amp;語る」</td></tr> </table> <p>館外学習1回 7月11日「里山は人間社会の根幹を支えている」をテーマに、若狭三方縄文博物館、福井県里山里海湖研究所の見学</p> <p>○地区公民館 全館で「環境学習」を開催 〔内 容〕 グリーンカーテン作り、生ごみ堆肥作り、自然観察会、ゴミ問題講座 自然エネルギー体験教室、花壇作り、ビオトープ整備、河川周辺の清掃 など</p>			6月20日	里山の果たす役割	7月11日	大量生産・消費時代のプラスチックのゆくえ	8月1日	毎日の食生活を考える	9月19日	若手気象予報士から学ぶ福井の気候と天気	11月21日	人と環境にやさしい公共交通とまちづくり	12月19日	話し合い学習「環境まちづくりを学ぶ&語る」
6月20日	里山の果たす役割														
7月11日	大量生産・消費時代のプラスチックのゆくえ														
8月1日	毎日の食生活を考える														
9月19日	若手気象予報士から学ぶ福井の気候と天気														
11月21日	人と環境にやさしい公共交通とまちづくり														
12月19日	話し合い学習「環境まちづくりを学ぶ&語る」														
<b>数 値 指 標</b>															
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>													
「環境学習」実施公民館数 : 全公民館 ⑧ 「環境学習」参加者数 : 4,126人(26年度) → 4,200人(27年度)		「環境学習」実施公民館数 : 全公民館 ⑧ 「環境学習」参加者数 : 4,277人													
成 果 ・ 課 題	<p>中央公民館では、多彩な講師を招いた講座の開設や、里山が人々の生活に与える影響を学ぶための現地研修を実施するなど、魅力ある学習プログラムの実践に努めました。今後も、持続可能な社会づくりに向け専門的な面から学習する機会を提供します。</p> <p>地区公民館では、生活の中の環境問題としてゴミ問題やエネルギー問題などを学びました。また、花壇作りや地域の自然を守る環境活動にも取り組んでいます。今後も、身近な課題を中心に学習機会を提供し、学んだ成果を実践活動に結びつけることにより、環境意識の高揚を図ります。</p>														

27	世代間交流事業の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>高齢者が長い人生経験の中で培ってきた知恵や技能、地区の伝統行事や生活文化等を次世代に継承する「はつらつ伝承塾」促進事業を実施するとともに、事業で取り組んだ内容を紹介する成果発表会を開催します。</p> <p>また、知識や技能を有する高齢者を社会教育の現場に派遣する高齢者人材活用派遣事業を実施し、豊かな人生経験を地域社会に還元します。</p>		
取 組 内 容	<p>○「はつらつ伝承塾」促進事業 6 団体、17 地区公民館において事業を実施 〔内 容〕 そば打ち、かきもち作り、地区史の寸劇化、伝承料理・郷土料理づくり、わらや竹を使った細工、民謡、木こり体験、戦後の福井を学ぶ など</p> <p>○「はつらつ伝承塾」成果発表会 地区に対する愛着心の醸成を諮る成果発表会を実施 〔日 時〕 平成 27 年 8 月 8 日（土） 13 時 30 分～15 時 45 分 〔場 所〕 福井県自治会館 多目的ホール 〔内 容〕 基調講演 演題：「福井 7 人の工芸サムライ」 講師：熊本 雄馬 氏 〔発表団体〕 荒木銭太鼓保存会（酒生） 安居みらい塾 ～資料室のお宝再発見～（安居）</p> <p>○高齢者人材活用派遣事業 公民館や幼・小・中学校をはじめ、老人クラブ、社会教育団体、児童館・児童クラブなどに登録名簿を配布し、事業の利活用を促進 〔登録者数〕 57 人 〔派遣回数〕 81 回 〔内 容〕 郷土料理、わら・竹細工、昔の遊び、戦争体験談、健康管理、書道、洋裁、俳句、詩吟、地域の歴史 など</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>「はつらつ伝承塾」促進事業実施数 （公民館及び地区団体） ： 22 事業（26 年度）→ 23 事業（27 年度）</p> <p>「はつらつ伝承塾」学習成果発表会参加者数 ： 400 人</p> <p>⑨ 高齢者人材活用派遣事業登録者数 ： 51 人（26 年度）→ 55 人（27 年度）</p>		<p>「はつらつ伝承塾」促進事業実施数 （公民館及び地区団体） ： 23 事業</p> <p>「はつらつ伝承塾」学習成果発表会参加者数 ： 418 人</p> <p>⑨ 高齢者人材活用派遣事業登録者数 ： 57 人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>「はつらつ伝承塾」促進事業では、23 事業の取組があり、伝統行事や生活文化等の継承に努めました。また、今年度は、隔年で実施している成果発表を開催し、地区公民館や団体の活動を地区外住民に対しても広く周知しました。</p> <p>高齢者人材活用派遣事業については、新たに 6 人が登録し、高齢者の生きがいづくりの場及び世代間交流の場の充実を図ることができました。</p> <p>来年度も引き続き、「はつらつ伝承塾」促進事業に取り組んでいくとともに、高齢者人材活用派遣事業の登録者数の拡大と活用を呼びかけていきます。</p>		

28	読書活動の推進	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>子どもの読書活動を推進し、乳幼児と保護者が絵本を介して親子の絆を深め、子どもたちの健やかな成長を支援するためブックスタート事業を行います。</p> <p>また、図書館の情報や魅力を市民に伝え、様々な機会を捉え図書資料を利用してもらうため、読書を楽しんでいただく行事を行うとともに、他の施設やイベント会場で本の貸出を行う「出前図書館」を実施します。</p> <p>さらに、学校と図書館司書の連携を図るため、司書による学校訪問と学校からの図書館訪問を充実し、学校図書館支援員のニーズに沿った研修会やワークショップを開催します。</p>		
取 組 内 容	<p>○ブックスタート：96回  市立図書館 12回      みどり図書館 12回      桜木図書館 12回  市保健センター 36回      清水保健センター 24回</p> <p>○出前図書館：21回    参加者総数 2,230名  「親子で作ろう エコバック」(35名) (有)福井住宅総合展示場  「まちフェス」西武横アプルロード(713名) まちづくり福井㈱  「向笠千恵子氏講演会」(98名) 中央公民館  「福井市上下水道展」(70名) 下水管理課  「警察ふれあいフェスタ」(58名) 福井警察署  「海原純子氏講演会」(329名) 中央公民館  「G. C o o kでの料理教室」(合計3回開催)(34名) ガス水道お客様課  「新たな国民病CKD！」(60名) 保健センター  「福井発！ビジネスプランコンテスト2015最終選考会」(150名) ビジネスプランコンテスト実行委員会  「福井市腎臓DAY啓発イベント」(96名) 福井大学医学部・中外製薬㈱ほか  他9会場で実施。</p> <p>○学校訪問・図書館訪問：283回  学校訪問 97回      図書館訪問 186回</p> <p>○学校図書館支援員研修会：2回 19名  5月15日：図書館 3名      2月18日：みどり図書館 16名</p> <p>○教職員研修会：1回 13名(8月20日：足羽小学校)</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
ブックスタート事業の実施 : 96回		ブックスタート事業の実施 : 96回	
⑨ 出前図書館の実施 : 10回		⑨ 出前図書館の実施 : 21回	
学校訪問・図書館訪問 : 221回(26年度) → 225回(27年度)		学校訪問・図書館訪問 : 283回	
⑨ 学校図書館支援員への研修会等の開催 : 2回		⑨ 学校図書館支援員への研修会等の開催 : 2回	
成 果 ・ 課 題	<p>ブックスタート事業は、目標の事業実施回数を達成しました。</p> <p>出前図書館は、公共施設や民間企業と連携し、ワークショップや読み聞かせ、図書の貸出を行い、図書館のPRと利用促進を図り、目標の事業実施回数を大幅に上回りました。</p> <p>学校訪問・図書館訪問は、ホームページに学校関係者へのお知らせを掲載したことで、小学校や幼稚園、保育園、児童館などからの依頼が増加し、目標の実施回数を達成しました。</p> <p>学校と図書館との連携を図ることを目的とした、学校図書館支援員への研修が目標数を達成したほか、教職員への研修も実施し、支援員・教職員の図書館サービスへの理解を深めました。</p> <p>今後も、市民一人ひとりに役立つ情報の提供や、学校との連携を図ります。また、出前図書館を積極的に実施することで、図書館のPRを行い、本に親しむ環境づくりに努めます。</p>		

29	図書館サービスの拡充	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>市民ニーズの多様化・高度化に対応し、本の貸出による読書支援に加えて、仕事や就職に役立つ情報の提供を行うビジネス支援や、子育て世代へのサービスを充実するなど、日常生活における課題の解決に役立つレファレンス（調査相談）サービスの拡充を図ります。</p> <p>また、市政広報やホームページ、チラシの配布等による情報の発信に努めるとともに、各図書館がそれぞれ特色を持った効果的なサービスの提供と、図書館全体の効率的な運営を行います。</p>		
	取 組 内 容	<p>○子育て支援行事</p> <p>    わらべうたと絵本を楽しむてんくらぶ（22回 593名）</p> <p>    パパママのためのわらべうたの会（2回 38名）</p> <p>    地域保育専門官の子育て相談（10回 50名）</p> <p>    子育てファミリー応援講座（17組 48名）</p> <p>○一般市民向け図書館行事</p> <p>    「朗読と書写の会」（2回 7名）</p> <p>    「うららの福井昔ばなし」（2回 38名）</p> <p>    「作家似鳥鶏氏講演会」（86名）</p> <p>    「みどり図書館上映会」（3回 93名）</p> <p>    「がんばらんかっていいざあ～体操」（30名）</p> <p>    「こんな手口に気をつけて!」（12名）</p> <p>    「何とかなるざあ～楽しい老後 ～認知症を理解するために～」(22名)</p> <p>    「歴史講座 遺跡の見方・見つけ方」（13名）</p> <p>    「みどり寄席」（37名）</p> <p>    「作家柚木麻子氏講演会」（161名）</p> <p>    「福井のお花で押し花アート」（10名）</p> <p>○ツイッター及びフェイスブックによる行事参加募集や、実施後の感想等の情報発信</p> <p>○市政広報</p> <p>    図書館本の紹介コーナー「ブックラボ」（10月10日号以降全5回紹介）</p> <p>○図書館ホームページリニューアル（3月）</p> <p>○移動図書館「あじさい号」ステーション：86箇所→90箇所に増設</p>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>市民1人当たりの貸出冊数</p> <p>    ： 4.5冊（26年度）→ 4.9冊（27年度）</p> <p>1日当たりの入館者数</p> <p>    ： 2,506人（26年度）→ 2,640人（27年度）</p> <p>⑨レファレンス（調査相談）件数</p> <p>    ： 16,904件（26年度）→ 17,500件（27年度）</p>		<p>市民1人当たりの貸出冊数</p> <p>    ： 4.6冊</p> <p>1日当たりの入館者数</p> <p>    ： 2,477人</p> <p>⑨レファレンス（調査相談）件数</p> <p>    ： 19,006件</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>各図書館の特色を活かして、子どもから高齢者までの幅広い行事や講演会等を開催し、図書館利用の拡大に努めました。特にみどり図書館では、子育て支援行事の取組を強化し、関連資料の特設コーナーを新たに設置したほか、乳幼児を持つ親子向け行事を開催し、利用者拡大を図りました。</p> <p>市民1人当たりの貸出冊数は前年度より増加しましたが、1日当たりの入館者数とともに、目標の数値を達成することはできませんでした。一方、レファレンス件数は大幅に目標の数値を上回りました。</p>		
	<p>今後も、各図書館の特徴を活かしたサービスを強化するとともに、市民にとってよりよいサービスの提供に努め利用者の増進を図っていきます。</p>		

VI. 生涯スポーツを推進し、市民の豊かなスポーツ活動を支援します

また、平成 30 年の福井国体・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた取組を進めます

30	スポーツ施設の充実	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>市民が安全・安心で気軽にスポーツを楽しむことができるよう、体育施設のバリアフリー化など体育施設の整備を計画的に進めます。</p> <p>また、平成 30 年の福井国体・全国障害者スポーツ大会において、本市で開催する競技会場並びに練習会場となる既存体育施設の整備を計画的に実施するとともに、弓道場及び市体育館サブアリーナを建設します。</p>		
取 組 内 容	<p>○平成 30 年の福井国体・全国障害者スポーツ大会において、本市で開催する競技会場並びに練習会場となる既存体育施設の整備を計画的に実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国体競技施設整備 : 西公園テニスコート改修工事 3月完了 地域体育館リフレッシュ工事 3月完了 開発グラウンドリフレッシュ工事 3月完了</li> <li>・ 弓道場・市体育館サブアリーナ等建設事業 : 弓道場新築工事 12月完了 市体育館サブアリーナ新築工事 12月完了</li> <li>・ 体育施設のバリアフリー化 : ちもり体育館誘導ブロック敷設工事 8月完了</li> </ul> <p>○指定管理施設について、利用促進を図るため自主事業を積極的に実施</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>	<b>結 果 ・ 成 果</b>		
<p>市体育施設利用者数 : 1,118,621人(26年度)→1,150,000人(27年度)</p> <p>スポーツ公園など屋内外の体育施設利用延べ日数 : 8,140日(26年度)→8,400日(27年度)</p> <p>既存体育施設改修事業</p> <p>国体競技施設整備 : 西公園テニスコート改修工事 地域体育館リフレッシュ工事 開発グラウンドリフレッシュ工事</p> <p>弓道場・市体育館サブアリーナ等建設事業 : 弓道場新築工事 市体育館サブアリーナ新築工事</p> <p>体育施設のバリアフリー化 : ちもり体育館誘導ブロック敷設工事</p>	<p>市体育施設利用者数 : 1,258,203人</p> <p>スポーツ公園など屋内外の体育施設利用延べ日数 : 8,401日</p> <p>既存体育施設改修事業</p> <p>国体競技施設整備 : 西公園テニスコート改修工事 地域体育館リフレッシュ工事 開発グラウンドリフレッシュ工事</p> <p>弓道場・市体育館サブアリーナ等建設事業 : 弓道場新築工事 市体育館サブアリーナ新築工事</p> <p>体育施設のバリアフリー化 : ちもり体育館誘導ブロック敷設工事</p>		
成 果 ・ 課 題	<p>施設利用者数は、中藤屋内運動場及び藤岡サッカー場の稼働とサブアリーナの完成、学校体育館の耐震工事の終了などにより、前年度と比較して14万人程度の利用増加が見込まれ、目標を達成することができました。</p> <p>来年度は、平成30年の国体・障害者スポーツ大会に向けての施設整備が本格化し、利用制限の期間が大幅に増えることから利用者の減少が見込まれます。</p> <p>稼働率が低い施設の利用促進を図りながら、国体・障害者スポーツ大会に向けての施設整備を着実に進めていきます。</p>		

31	スポーツ活動の機会の拡充	達成度																									
<b>実 行 内 容</b>																											
目 標	<p>「生涯にわたりスポーツを楽しむことができるまち」の実現を目指した福井市スポーツ推進計画に基づき、市民一人ひとりが楽しみながら運動・スポーツに参加できる機会として、ファミリーウォークやミニマラソン大会等を開催します。</p> <p>また、福井国体に向けて市民の関心を高めるため、全国規模大会の開催支援を行い、トップアスリートのプレーを身近に見ることでスポーツの魅力を感じられるよう、全国から集まる選手とスポーツを通して交流できる場を設けます。</p>																										
取組内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>○春のスポーツ教室の実施</td> <td style="text-align: center;">: 5月</td> <td style="text-align: center;">参加者数</td> <td style="text-align: right;">253人</td> </tr> <tr> <td>○秋のスポーツ教室の実施</td> <td style="text-align: center;">: 9月</td> <td style="text-align: center;">参加者数</td> <td style="text-align: right;">256人</td> </tr> <tr> <td>○こんにちはファミリーウォークの実施</td> <td style="text-align: center;">: 6月</td> <td style="text-align: center;">参加者数</td> <td style="text-align: right;">304人</td> </tr> <tr> <td>○スポーツレクリエーション大会の実施</td> <td style="text-align: center;">: 9月～10月</td> <td style="text-align: center;">参加者数</td> <td style="text-align: right;">496人</td> </tr> <tr> <td>○ファミリーミニマラソン大会の実施</td> <td style="text-align: center;">: 11月</td> <td style="text-align: center;">参加者数</td> <td style="text-align: right;">966人</td> </tr> <tr> <td>○全国・ブロック大会規模の大会開催支援</td> <td style="text-align: center;">: 11回</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			○春のスポーツ教室の実施	: 5月	参加者数	253人	○秋のスポーツ教室の実施	: 9月	参加者数	256人	○こんにちはファミリーウォークの実施	: 6月	参加者数	304人	○スポーツレクリエーション大会の実施	: 9月～10月	参加者数	496人	○ファミリーミニマラソン大会の実施	: 11月	参加者数	966人	○全国・ブロック大会規模の大会開催支援	: 11回		
○春のスポーツ教室の実施	: 5月	参加者数	253人																								
○秋のスポーツ教室の実施	: 9月	参加者数	256人																								
○こんにちはファミリーウォークの実施	: 6月	参加者数	304人																								
○スポーツレクリエーション大会の実施	: 9月～10月	参加者数	496人																								
○ファミリーミニマラソン大会の実施	: 11月	参加者数	966人																								
○全国・ブロック大会規模の大会開催支援	: 11回																										
<b>数 値 指 標</b>																											
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>																									
春のスポーツ教室参加者数 : 250人 秋のスポーツ教室参加者数 : 250人 スポーツレクリエーション大会参加者数 : 527人 (26年度) → 620人 (27年度) こんにちはファミリーウォーク参加申込者数 : 300人 ファミリーミニマラソン大会参加申込者数 : 1,100人 全国・ブロック大会規模の大会開催支援回数 : 10回		春のスポーツ教室参加者数 : 253人 秋のスポーツ教室参加者数 : 256人 スポーツレクリエーション大会参加者数 : 496人 こんにちはファミリーウォーク参加申込者数 : 324人 ファミリーミニマラソン大会参加申込者数 : 1,177人 全国・ブロック大会規模の大会開催支援回数 : 11回																									
成 果 ・ 課 題	<p>「こんにちはファミリーウォーク」、「ファミリーミニマラソン」、「春・秋健康体操教室」の生涯スポーツ推進事業については、市政広報ふくい、学校、公民館等へのチラシ配布などの広報媒体を活用することで、目標の申込者数や参加者数を上回ることができました。</p> <p>また、全国・ブロック大会規模の大会支援については、各種マラソン大会やボーイズリーグの全国大会などの8つの全国大会規模、3つのブロック大会規模の支援を行いました。</p> <p>しかし、スポーツレクリエーション大会については、レクリエーションスポーツも多種多様あり、近年は参加者の硬直化による参加者が減少しているのが現状です。</p> <p>来年度は、スポーツ推進委員が中心となり、国体のデモンストレーション競技として本市で開催されるスティックリング競技をはじめ、ニュースポーツの普及など生涯スポーツの推進に取り組んでいきます。</p>																										

32	福井国体・全国障害者スポーツ大会の開催準備	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>国体及び大会の機運を醸成するため、小・中学校等を訪問したり、各種イベントに参加したりするほか、国体をPRするホームページを開設するなど広報啓発活動を進めます。</p> <p>また、国体開催に必要な準備を進めるため、国体準備委員会（総会、常任委員会、専門委員会）において、県及び競技団体等と連携しながら、開催推進総合計画及び年次計画に沿った各種基本計画や実施要項等を策定します。</p> <p>今年度は、福井国体が正式に決定されることに伴い、国体準備委員会を実行委員会に組織変更するとともに、全庁的な取組を推進するため庁内推進本部を設置し、関係部局相互の緊密な連携を図ります。</p>		
<b>取 組 内 容</b>	<p>○専門委員会…総務企画（6月2日）、競技式典（6月9日）宿泊衛生（2月16日）</p> <p>○常任委員会（8月28日、3月28日）総会（8月28日）準備委員会から実行委員会に組織変更</p> <p>○先催都市の視察…岩手国体リハーサル大会（7市町、8競技）和歌山国体（12市町、14競技）和歌山障スポ大会（3市町、4競技）事業概要説明会（和歌山市ほか8市町）</p> <p>○広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校等への訪問：14校 明新小（5月17日）、清水北小（5月24日）酒生小（10月1日）、社南小（10月11日）日新小（2月25日）、国見小（2月26日）一乗小（3月1日）、美山啓明小（3月2日）ほか</li> <li>・イベント参加：22回 まちフェス（6月7日・7月5日・9月6日）、市民体育大会開会式（6月13日）フェニックスまつり（7月31日～8月2日）、上下水道展（8月8日～9日）ほか</li> <li>・独自活動：2回 エルパ（7月12日）、JR福井駅前（7月23日）</li> <li>・市政出前講座：4回 木田公民館（10月6日）、順化公民館（10月14日）、社南公民館（1月7日）東藤島公民館（3月12日）</li> <li>・工作物設置：三角塔（市役所）、横断幕（市体育館）、懸垂幕（アオッサ）</li> <li>・啓発物の製作：はぴりゅう着ぐるみ（4月）、うちわ（4,000枚）ほか</li> <li>・ポロシャツの斡旋：1,065着（市職員夏季用事務服として）</li> </ul> <p>○庁内推進本部の設置：（本部会12月1日 幹事会1月29日）</p> <p>○国体専用ホームページの公開：12月22日</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>	<b>結 果 ・ 成 果</b>		
<p>⑨ 競技体験・啓発事業の実施：小・中学校14校</p> <p>⑨ 実行委員会ホームページの公開：12月</p> <p>⑨ 実行委員会への組織変更：8月</p> <p>⑨ 基本計画の策定 ：市民協働推進基本計画、観光・接伴基本計画</p> <p>⑨ 実施要項の作成 ：医療救護要項、防疫対策要項、食品衛生対策要項、環境衛生対策要項、輸送業務実施要項</p>	<p>⑨ 競技体験・啓発事業の実施：小・中学校14校</p> <p>⑨ 実行委員会ホームページの公開：12月</p> <p>⑨ 実行委員会への組織変更：8月</p> <p>⑨ 基本計画の策定 ：市民協働推進基本計画、観光・おもてなし基本計画</p> <p>⑨ 実施要項の作成 ：医療救護要項、感染症（防疫）対策要項、食品衛生対策要項、環境衛生対策要項、輸送業務実施要項</p>		
<b>成 果 課 題</b>	<p>「福井しあわせ元気」国体・障害者スポーツ大会の正式決定を受け、準備委員会から実行委員会に組織変更しました。全庁を挙げて開催準備を推進するため、庁内推進本部を設置しました。</p> <p>また、各種イベント等に参加しPRグッズ等を配付したり、国体専用ホームページやSNSを通じて情報発信したりするなど、広報啓発活動に取り組みました。</p> <p>両大会を成功に導くには市民参加が不可欠であり、今後も引き続き広報啓発活動に取り組み、機運醸成を図っていきます。</p>		

Ⅶ. 文化芸術活動を支援するとともに、歴史や文化遺産の保存と活用を進めます

33	文化芸術活動の担い手育成と伝統行事の保存継承	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>文化芸術活動の担い手育成のため、文化芸術団体の活動を支援するとともに、文化芸術の鑑賞や体験する機会の充実を図ります。</p> <p>また、国・県・市指定無形民俗文化財保存団体に取り組んでいる後継者育成への支援や、指定文化財の現況確認等により文化財保護と公開活用を進めます。</p>		
取 組 内 容	<p>○担い手育成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統芸能に親しむ機会を創出するため能楽鑑賞を支援（4月）</li> <li>・市民とアーティストによる共同舞台の制作を支援（5月）</li> <li>・市内小中学校へ和楽器の専門家を派遣（10月～12月）</li> <li>・中学生吹奏楽クリニック&amp;コンサート開催を支援（10月、3月）</li> </ul> <p>○伝統行事の保存継承事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福井県指定無形民俗文化財4団体へ助成金を交付 （花山行事：栃泉町、じじぐれ祭：味見河内町、馬鹿ばやし：手寄、したんじょう行事：鹿俣町）</li> <li>・福井市指定無形民俗文化財2団体へ助成金を交付 （免鳥夜網節：免鳥町、オシッサマのお渡り：本堂町）</li> </ul> <p>○滝波町所在の仏像4躯（1件）について市指定に向けた現地調査及び市文化財保護委員会での審議を実施</p> <p>○修理の必要な指定文化財について、処置の方向性、修理に関する今後のスケジュールと内容を所有者及び専門家と協議 （法雲寺本堂、賀茂神社脇社祇園社、毛利家長屋門）</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>企画・運営・舞台芸術などの担い手育成事業数 ： 4事業</p> <p>無形民俗文化財保存団体数 ： 9団体</p> <p>市内所在の指定文化財数 （国指定、国選択、市・県指定、登録文化財） ： 177件</p>		<p>企画・運営・舞台芸術などの担い手育成事業数 ： 4事業</p> <p>無形民俗文化財保存団体数 ： 9団体</p> <p>市内所在の指定文化財数 （国指定、国選択、市・県指定、登録文化財） ： 178件</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>文化芸術活動の担い手育成では、能楽鑑賞会の開催や市内小中学校への和楽器専門家の派遣事業を支援しました。また、市民とアーティストによる共同舞台の制作や中学校吹奏楽部を対象としたクリニック・コンサートの開催を支援しました。今後もこうした支援により、文化芸術の鑑賞や体験の機会を提供し、文化芸術活動の担い手育成を図ります。</p> <p>地域の貴重な文化財を後世へ継承していくため、無形民俗文化財保存団体の活動を助成しました。滝波町所在の仏像4躯（1件）を新たに市の文化財に指定し、市内所在の指定文化財数が178件になりました。</p> <p>今後も、保存団体と連携を図り、無形民俗文化財の保存継承に必要な支援を行っていきます。</p>		

34	文化芸術活動の交流と情報発信	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>福井市文化協会が主催する市民文化祭や体験講座の開催を支援し、市民の文化活動の交流と、文化芸術に出会い親しむ機会を増やします。</p> <p>また、文化芸術活動の拠点施設として、文化会館の施設運営と設備の更新を行い、利用者の利便性と満足度の向上を図ります。</p> <p>文化芸術や文化財に関する魅力を、ソーシャルメディアなどを活用して情報発信します。</p>		
取 組 内 容	<p>○文化協会企画事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏休み絵画教室「養浩館庭園を描く」 8月9日 8人</li> <li>・子どもお茶席体験講座 11月6日 48人</li> <li>・大人対象の絵画教室「養浩館庭園を描く」 10月11日 12人</li> </ul> <p>○文化協会主催の市民文化祭を支援 11月3日～4日</p> <p>○文化奨励賞事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選考委員会 9月30日</li> <li>・授与式 11月3日</li> </ul> <p>○宇野重吉氏顕彰事業へ補助金交付</p> <p>○文化会館管理運営事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピアノ庫空調機器取替修繕 6月</li> <li>・舞台小迫り部品取替修繕 12月</li> <li>・文化会館次期指定管理者の指定議案議決 12月</li> </ul> <p>○Facebook「うららの文化」や市政広報で、文化芸術や文化財の情報を発信</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
市民文化祭参加者数 : 6,216人(26年度) → 7,000人(27年度)		市民文化祭参加者数 : 7,058人	
文化会館年間利用者数 : 97,227人(26年度) → 100,000人(27年度)		文化会館年間利用者数 : 106,594人	
成 果 ・ 課 題	<p>市民文化祭では、文化協会加盟団体による展示や茶会、聞香会、将棋大会や芸能大会に多数の市民が参加し、全体の参加者数は目標値を上回る結果となりました。文化協会企画事業では、養浩館庭園でお茶席体験講座や絵画教室を開催しました。</p> <p>文化・芸術等の分野において、すぐれた活動と業績をあげた市民の栄誉を賞賛するため、3名の市民に対し文化奨励賞を授与しました。また、演劇文化の裾野拡大を目的とした演劇祭の実施や公民館との提携事業、写真パネル展を実施する宇野重吉顕彰事業への支援を行いました。</p> <p>文化会館では、次期指定管理者の選定や老朽化した舞台設備の修繕を行いました。年間利用者数は昨年度を上回る106,594人となり、目標値を達成しました。</p> <p>Facebook「うららのブンカ」や市政広報による情報発信を行い、情報提供に努めました。</p> <p>今後も、文化芸術活動の交流促進や情報発信と拠点施設の適切な管理運営に引き続き取り組んでいきます。</p>		

35	文化財保護センター企画展の開催	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>文化財を次世代に継承し、郷土に対する愛着を深めてもらうため、収蔵する資料を公開し身近に触れることができる企画展を開催します。</p> <p>また、大人から子どもまで楽しみながら先人たちの技術が体験できる学習会を実施します。</p>		
<b>取組内容</b>	<p>○常設展示(休館日：土日祝日、企画展開催中は除く)</p> <p>○企画展の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「古墳絶頂」 7月18日～8月30日の44日間実施 1,306人</li> <li>・「中世 城・館・寺を掘る」 10月31日～11月29日の30日間実施 431人</li> <li>・「発掘速報展」 2月13日～3月13日 322人</li> <li>・「福井城発掘物語」 1月16日～31日 ふく+で開催 498人</li> </ul> <p>○古代技術教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「土器づくり」 7月19日・25日、11月1日・7日、2月13日・21日の6回実施 166人</li> <li>・「土器焼き」8月8・9日、11月22日、3月5日の4回実施 67人</li> <li>・「古代アクセサリーづくり」 8月23日 37人</li> <li>・「キーホルダーづくり」 11月15日 16名</li> </ul> <p>【ワークショップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「火おこし器づくり」 7月18日 17人</li> <li>・「弓矢づくり」 7月26日 30人</li> <li>・「布ぞうりづくり」 8月9日 15人</li> </ul> <p>○古代体験コーナー「やってみね間」 (勾玉づくり、火おこし体験、弓矢など常時実施) 1,536人</p> <p>○「体験学習」として夏休み期間にのびっ子クラブなど14団体を受入れ、土器づくり、勾玉づくりを実施 411人</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>企画展入場者数 ： 2,139人(26年度) → 2,200人(27年度)</p> <p>年間利用者数 ： 3,583人(26年度) → 3,600人(27年度)</p>		<p>企画展入場者数 ： 2,557人</p> <p>年間利用者数 ： 4,477人</p>	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>古代技術体験、ワークショップは、市内小学校全児童に加え、近隣市町にも年間行事予定を配布したことにより、夏休み期間中を中心に多数の参加者に恵まれました。企画展入場者数は昨年度と比較して約19%増、年間利用者数は約24%増と、それぞれ目標を上回ることができました。</p> <p>また、公民館、PTA、子ども会や児童クラブなど団体の古代体験受入れのほか、図書館、小学校などへの出前授業も行いました。</p> <p>今後も企画展等を通して郷土の魅力を伝えていくとともに、体験学習会や学校、公民館等への出前授業などを進め、文化財に触れ合う機会の提供に努めます。</p>		

36	一乗谷朝倉氏遺跡の整備と魅力向上	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
<b>目 標</b>	<p>特別史跡の保存・管理と環境整備を行うとともに、地権者の同意が得られた上城戸周辺について公有化を行います。山城については、公有化を目指し地権者及び関係機関との協議を進めます。</p> <p>また、復原町並の屋外消火栓配管や諏訪館跡石垣等の修理工事を行い、見学者の安全性を向上します。</p>		
<b>取 組 内 容</b>	<p>○遺跡保存管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・館跡庭園の斜面崩落修繕（4月）</li> <li>・復原町並門扉修繕（6月）</li> <li>・イノシシ害対策として電気柵を延長（8月）</li> <li>・諏訪館跡石垣等の修理工事完了（3月）</li> </ul> <p>○遺跡環境整備事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見学者の増加によるトイレ不足対策として、復原町並に仮設トイレ5基を設置（9月）</li> <li>・復原町並次期指定管理者の指定議案議決（12月）</li> <li>・復原町並屋外消火栓配管の修繕工事完了（1月）</li> <li>・植生・植栽管理計画管理マニュアル作成（3月）</li> </ul> <p>○公有化事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上城戸の追加指定地公有化のため用地測量・不動産鑑定を実施（8月・9月）</li> <li>・上城戸の追加指定地公有化について地権者と契約（3月）</li> <li>・県博物館整備について地元説明会を開催（10月～）</li> </ul>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>一乗谷朝倉氏遺跡見学者数（復原町並含む） ： 240,288人(26年度)→ 265,000人(27年度)</p>		<p>一乗谷朝倉氏遺跡見学者数（復原町並含む） ： 347,528人</p>	
<p>⑨復原町並屋外消火栓修繕工事完了 : 12月</p>		<p>⑨復原町並屋外消火栓修繕工事完了 : 1月</p>	
<p>⑨上城戸周辺公有化完了</p>		<p>⑨上城戸周辺公有化完了</p>	
<b>成 果 ・ 課 題</b>	<p>復原町並屋外消火栓の工事については、観光シーズン以外のできるだけ短期間で施工を計画していましたが、当初の入札が不調となったことなどにより、目標期間内に完了できませんでした。</p> <p>北陸新幹線金沢開業の影響もあり、見学者数は前年度に比べ約45%増加しました。今後も見学者の増加傾向は続くと思われ、トイレの増設など、見学者の利便性の向上について対策を検討していきます。</p> <p>上城戸周辺の公有化は3月に完了しました。山城については公有化を目指し協議を継続していきます。</p> <p>県が平成32年開館を計画している一乗谷朝倉氏遺跡博物館（仮称）建設に協力し、用地取得について、地権者や関係者等と交渉を進めています。今後も地元説明会等の機会を通じて丁寧な説明に努めます。</p> <p>イノシシによる遺跡内の被害が特別名勝庭園にまで及んでいるため、見回りを強化するとともに、被害箇所を速やかに修繕し、電気柵の延長を行いました。今後も状況を把握しながら、地元や関係団体と連携し、迅速な対応に努めます。</p>		

37	養浩館庭園の整備と魅力向上	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>名勝養浩館庭園の魅力を後世に継承するため、保存管理計画を策定するとともに、御茶屋の柿葺き屋根改修などの環境整備を行います。</p> <p>また、養浩館庭園の魅力をさらに向上させるため、茶席の提供や聞香会など伝統文化をテーマとした事業や、北陸ディスティネーションキャンペーンに合わせ、観光分野と連携したライトアップ事業等を実施します。</p>		
	取 組 内 容	<p>○養浩館庭園保存管理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・御月見ノ間南面柿葺屋根葺替え工事完了 9月</li> <li>・養浩館（旧御泉水屋敷）保存活用計画の策定 （委員会開催 6月～2月計4回、計画策定完了 3月）</li> <li>・庭園測量図作成 3月</li> </ul> <p>○魅力向上・観光活用事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「お茶席」 4月11日～6月21日、9月12日～11月29日の土日祝日 2,740人</li> <li>・「特設茶席」（旅行会社企画ツアー等） 156人</li> <li>・「早朝無料開園」 1,617人</li> <li>・「雨の日サービス」 7月～8月の15日間 23人</li> <li>・「越前焼＋苔庭」 6月7日 15人</li> <li>・「とねりの会学習会」（講師：日向進氏） 6月4日 23人、8月19日 16人</li> <li>・「聞香会」 7月4日 44人</li> <li>・「氷の茶会」 7月19日 95人</li> <li>・「浴衣で遊歩」 7月18日～8月9日 70人</li> <li>・「養浩塾「箏」」 7月11日～9月5日 59人</li> <li>・「日本酒文化」 9月5日 34人</li> <li>・「秋のライトアップ」（観光推進関係課連携事業） 10月～11月 1,752人</li> <li>・「松風の茶会」 11月2日～15日 152人</li> <li>・「蠟月の茶会」 12月13日 62人</li> <li>・「初釜」 1月3日・4日 294人</li> <li>・「新年特別開園」 1月3日・4日 440人</li> <li>・「越前焼＋粒盆栽」 1月23日 30人、3月13日 31人</li> <li>・「香りとお茶を楽しむ会」 3月5日 49人</li> </ul>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>年間入場者数 ： 65,373人(26年度)→ 70,000人(27年度)</p> <p>魅力向上・観光活用事業参加者数 ： 7,514人(26年度)→ 7,700人(27年度)</p> <p>⑧養浩館庭園保存管理計画の策定</p>		<p>年間入場者数 ： 72,330人</p> <p>魅力向上・観光活用事業参加者数 ： 7,702人</p> <p>⑧養浩館庭園保存管理計画の策定</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>入園者数は、北陸新幹線金沢開業の影響などから増加し、目標数値を達成しました。今後も、開催イベントの見直しや情報発信などの広報強化、観光分野との連携強化を図り、更なる魅力向上と集客増を図ります。</p>		
	<p>保存活用計画については、策定委員会を4回開催して審議し、3月末に策定しました。また、保存管理に係る環境整備として、御月見ノ間南面の柿葺き屋根の改修、現況庭園測量図の作成を実施しました。</p> <p>今後も、養浩館庭園を良好な状態で後世に継承していくため、保存活用計画に基づく適切な管理・運営に努めます。</p>		

38	おさごえ民家園の整備と活用	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>老朽化が進んでいる茅屋根の葺き替えや修繕を実施し、文化財施設を適切に維持・管理します。 また、体験学習会などの市民参加型イベントの充実や、茅屋根を葺き替える古民家の見学説明会などを開催します。 さらに、学校の学習利用や外国語パンフレットの作成など、教育・観光等の利活用を推進します。</p>		
取 組 内 容	<p>○旧城地家住宅茅屋根葺き替え見学会 8月8日 24人 ○旧城地家住宅改修工事完成記念企画 11月21日～12月20日 2,194人 ・旧城地家住宅改修工事完成内覧会 ・企画展示「写真でたどる旧城地家と市内の大工道具展」 ・旧城地家住宅ライトアップ ・ゴンボ（しめ縄）作り ○学校連携による校外学習受入 50校（小学校 49校 中学校 1校） 2,454人 ○体験学習会等 ・「カマドでご飯」 5月2・4・6日 84人 ・「子ども茶会」 6月21日 30人、7月19日 44人 ・「凧を作って遊ぼう」 6月21日 18人 ・「親子でミュージアム」 6月7日 35人（会場：福井西武） ・「おさごえで七夕」 7月7日 20人 ・「民家園で花火を観よう」 7月31日 204人 ・「怪談ときもだめし」 8月13日 55人 ・「民家園でお月見をしよう」 9月27日 49人 ・「子ども茶会」 11月15日 45人 ・「そば打ち」 11月23日 39人 ・「輪飾り作り」 12月23日 27人 ○外国語（英訳版）パンフレットの作成（3月）</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>年間入園者数 ： 8,972人(26年度) → 9,500人(27年度) 体験学習会等開催数 ： 15回(26年度) → 16回(27年度) ⑧ 小学校の校外学習受入回数 ： 53校(26年度) → 54校(27年度) ⑧ 旧城地家茅屋根葺き替え工事完了 : 12月</p>		<p>年間入園者数 ： 8,359人 体験学習会等開催数 ： 17回 ⑧ 小学校の校外学習受入回数 ： 49校 ⑧ 旧城地家茅屋根葺き替え工事完了 : 11月</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>旧城地家住宅茅屋根葺き替え工事は、計画どおり完成しましたが、工事施行期間の半年以上、見学・利用できる施設が制限されていたため、年間入園者数が昨年度と比較して減少しました。 体験学習会等の行事を目標より多く実施し、旧城地家住宅茅屋根葺き替え工事の完成を記念したイベントを開くなど、民家園の周知と魅力の拡大に努めました。 学校連携事業を含む、小学校の校外学習の受け入れについては、個別に案内を送るなど、拡大に努めましたが、昨年度を4校下回る結果となりました。 来年度は旧岡本家住宅の葺き替え工事を予定していますが、葺き替え工事を活かした見学説明会を開催するなどのイベントを行うとともに、市外小中学校へのPRの強化や、他の博物館施設との連携した利用拡大を進め、入園者の増加に努めます。</p>		

39	美術館企画展等の開催	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>世代や性別を超えて気軽に芸術に親しめるよう、分野・時代・地域など美術の多様性を考慮して、変化に富んだ企画展を開催します。</p> <p>また、企画展に関連したアトリエ講座を開催して、気軽に芸術に親しむ機会を提供します。</p> <p>本市の美術文化の向上を図るため、「市美展ふくい」の開催や展示室の貸出を行い、市民の芸術活動の発表の機会を提供します。</p>		
	取 組 内 容	<p>○「アメリカン・ポップアート展」 平成27年5月30日～7月12日 38日間開催</p> <p>○「手塚治虫展」 平成27年7月18日～9月6日 45日間開催</p> <p>○「ルネ・ラリック展」 平成27年9月12日～11月3日 46日間開催</p> <p>○「美術の目でみる博物館」 平成28年2月20日～3月27日 32日間開催</p> <p>○子どもアトリエ 9講座開催 ①4/25 ②6/20 ③7/5 ④8/8,9 ⑤9/19 ⑥10/25 ⑦11/15 ⑧12/6 ⑨3/6</p> <p>○市民アトリエ 9講座開催 ①4/29 ②6/28 ③7/26 ④8/29,30 ⑤9/22,23 ⑥10/4,18 ⑦11/7,8 ⑧12/19,20 ⑨3/5</p> <p>○第28回市美展ふくい 5月15日～24日 10日間開催</p>	
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>企画展入場者数 ： 61,920人(26年度) → 62,000人(27年度)</p> <p>子どもアトリエ開催数 : 9講座</p> <p>市民アトリエ開催数 : 9講座</p> <p>市美展ふくい開催 : 5月</p> <p>年間総入館者数 ： 92,559人(26年度) → 93,000人(27年度)</p>		<p>企画展入場者数 ： 19,388人</p> <p>子どもアトリエ開催数 : 9講座</p> <p>市民アトリエ開催数 : 9講座</p> <p>市美展ふくい開催 : 5月</p> <p>年間総入館者数 ： 50,001人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>企画展では、マスコミとの実行委員会形式による2本の展覧会についても入場者数が伸び悩み、会期中に多くの広報の打ち出しや各種イベントを増やしましたが、目標を達成することはできませんでした。来場者アンケートでは83.9%の方が満足されていることから、今一つ企画展の魅力が伝えられず、集客につながらなかったものと考えられます。</p>		
	<p>アトリエ事業や市美展ふくいの開催については、目標を達成しました。</p> <p>次年度は、企画展の内容やアトリエ活動に一層の関心を向けていただけるよう、話題作りに取り組み、美術館の活動を広く周知して来館者増を目指します。</p>		

40	郷土歴史博物館企画展等の開催	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>文献・考古・美術史という様々な分野から地域の歴史・文化に関わりの深いテーマを厳選し、魅力ある特別展・企画展を開催します。</p>		
	<p>また、夏休み企画として、博物館の選りすぐりの館蔵品を展示する「博物館の名品大集合」を開催するとともに、教育普及活動の充実に努め、福井の歴史を楽しく学ぶ機会を提供します。</p>		
取 組 内 容	<p>○春季特別展「エヴァンゲリオンと日本刀展」(3月28日～5月10日)  ○夏休み企画展「博物館の名品大集合」(7月27日～8月31日)  ○秋季特別展「大名華族たちの明治」(10月16日～11月23日)  ○春季特別展「江戸の小袖の春夏秋冬」(3月19日～5月5日)</p>		
	<b>数 値 指 標</b>		
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>企画展入場者数  : 22,882人(26年度) → 23,000人(27年度)  ⑨特別展・企画展ギャラリートークの回数  : 10回  年間総入館者数  : 77,953人(26年度) → 78,000人(27年度)  収蔵資料数  : 40,161点(26年度) → 40,200点(27年度)</p>		<p>企画展入場者数  : 24,315人  ⑨特別展・企画展ギャラリートークの回数  : 25回  年間総入館者数  : 78,021人  収蔵資料数  : 40,555点</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>総入館者数、企画展入館者数、収蔵資料数ともに目標を達成できました。特に特別展・企画展のギャラリートークの開催を目標より大きく上回って実施したことにより、郷土福井への誇りと関心を高めることができました。</p>		
	<p>今後とも、博物館の基本理念の下で魅力ある展示を行うとともに、PR活動を強化し、隣接する養浩館庭園と合わせて福井の歴史・文化情報を発信し、福井市のまちなか観光の推進につなげていきます。</p>		

Ⅷ. 自然科学教育の推進と中心市街地のにぎわいと交流を目的に、自然史博物館分館の整備を進めます

41	自然史博物館企画展の開催と分館の整備	達成度	
<b>実 行 内 容</b>			
目 標	<p>植物・動物・天文・地質など自然史に関する様々な視点から、市民に知ってもらいたいことや興味をもたれていることをテーマにした企画展や体験行事、講座などを開催します。</p> <p>また、平成28年の開館に向けて分館の整備とプロモーション事業を実施するとともに、JAXA等の専門機関と連携して、天文・宇宙科学の魅力を伝える講座を開催します。</p>		
取組内容	<p>○「むしむし美術館 神様のデザイン、人々のアート」(3月21日～5月18日) 6,583人(27年度分入場者数)</p> <p>○「宇宙への旅立ち ーはやぶさ2と宇宙飛行士ー」(7月18日～8月30日) 4,505人</p> <p>○「ノーベル賞を受賞した日本の科学者」「吉村太郎君の貝類標本コレクション展」 (10月10日～11月29日) 2,048人</p> <p>○ミニ企画展「干支展 申」(12月19日～1月31日) 533人</p> <p>○「奇跡の惑星地球 昆虫たちのメッセージ～守り伝えたいふくいの自然環境～」(3月19日～5月22日) 1,081人(27年度分入場者数)</p> <p>○自然史講座等 73回 4,511人</p> <p>○自然史博物館分館ホームページ開設 11月</p>		
<b>数 値 指 標</b>			
<b>目 標</b>		<b>結 果 ・ 成 果</b>	
<p>企画展入場者数 : 12,057人(26年度) → 20,000人(27年度)</p> <p>自然史講座等参加者数 : 4,152人(26年度) → 4,200人(27年度)</p> <p>⑨自然史博物館分館ホームページ開設 : 10月</p> <p>年間総入館者数 : 18,681人(26年度) → 26,000人(27年度)</p>		<p>企画展入場者数 : 14,750人</p> <p>自然史講座等参加者数 : 4,511人</p> <p>⑨自然史博物館分館ホームページ開設 : 11月</p> <p>年間総入場者数 : 19,325人</p>	
成 果 ・ 課 題	<p>企画展では、春は子どもたちの人気が高い昆虫をテーマに開催し、1日あたりの入場者数は特別展(平成17年度以降)の平均入場者数(123人/日)を大きく上回る211人/日となりました。夏の企画展は分館のプロモーションとして宇宙をテーマに開催しました。秋と年末年始に開催したミニ企画展とあわせて、企画展の入場者数は、前年度を超える実績になりましたが、年間総入場者数と共に、目標は達成できませんでした。</p> <p>今後は、セーレンプラネット(分館)や市の博物館施設との連携を進め、周知活動の効果を高めていきます。また、来館者により満足していただける施設となるよう工夫していきます。</p> <p>自然史講座等参加者数は、目標を達成しました。足羽山をはじめとした野外での講座や天体観望会は、子どもたちのニーズが高いことから、引き続き自然に直接触れ学ぶ機会の提供を行っていきます。</p>		

## 5 外部の知見

福井大学大学院教育学研究科教授 柳沢 昌一

はじめに

新幹線・高速道路をはじめとする高速交通網の整備が進む中で、福井市は大きな変化の時期にさしかかっている。教育においても新学習指導要領の輪郭が明確となり、主体的・協働的な学びを学校と地域の力を合わせて実現していくことが、現実的な課題として提起されてきている。これまで、福井市の学校と地域双方における教育行政の長い取組の蓄積と成果を、新しい段階において最大限に活かしていくための知恵と工夫、組織マネジメントが教育委員会に求められてきていると言えるだろう。

今回、福井市教育委員会においてまとめられた「平成 27 年度福井市教育委員会事務の管理および執行の状況の点検・評価報告書（案）」について審査意見を求められた者として、同報告書（案）および各組織が公にした数多くの広報や報告書を踏まえ、福井市教育委員会の取組の概要と個別の施策について、所見を記す。

まず、(1.) 基本的な目標を確認し、(2.) 「教育に関する事務の管理及び執行状況」の概要と指標を確認した上で、(3.) より具体的な取組を示すそれぞれの施策と施設に関わる報告書についても検討する。

### 1. 目標設定について

福井市教育振興基本計画（平成 24 年度～平成 28 年度）において、「基本目標」として「みんなが学び成長する教育の振興」が掲げられ、分野ごとに三つの政策が示されている。「健やかで自立心をもった感性豊かな子どもの育成」（学校教育）、「市民が自主的に楽しむ生涯学習や生涯スポーツの推進」（社会教育・社会体育）、「魅力ある文化芸術の振興と歴史や文化財の保存・継承」（文化芸術・文化財）。

学校教育分野では平成 25 年度より、「学びの一貫性と確かな接続 一個の育ちを支えるためにー」という方針を設定し、幼小中の一貫した教育の実現を目指す取組が、中学校区を基盤として重ねられてきている。

社会教育分野では、市民自らが主体となる「創造的な学習活動」の実現を目指し、地域・家庭・教育がそれぞれの取組を進めつつ協働するための 4 つの柱が設定されている。

### 2. 「教育に関する事務の管理及び執行状況」の概要とその評価

「教育に関する事務の管理及び執行状況」は、全体の「総括」、「組織目標ごとの達成状況」の総括と指標の達成状況から構成されている。

全 41 の指標の内、「期限内に指標を達成したもの」が 34 項目、「行動目標をおおむね達成したもの」が 1 項目、「達成できなかったもの」が 6 項目であり、「期限内に指標を達成したもの」が全体の 83 パーセント、達成できなかったものが 15 パーセントとなっている。

昨年度においては、「期限内に指標を達成したもの」が26項目、「行動目標をおおむね達成したもの」が1項目、「達成できなかったもの」が14項目であり、「期限内に指標を達成したもの」が全体の63パーセント、達成できなかったものが34パーセントとなっていたことと比較すると、「指標を達成したもの」の割合が20パーセント上昇したこととなる。

#### 1) 学校教育関係（施設整備、家庭地域との連携を含む）の施策について

学校教育においては、「子どもたち一人ひとりが「生きる力」を身につけるため、学校、家庭、地域の連携を深め」、「充実した教育」を実現していくことを目指して、下記の4つの柱で21項目の取組が進められている。

- I. 気がかりな児童生徒を支援し、子どもたちが生き生きと学校生活を送るための充実した学校教育を行います（1～8）
- II. 学校における安全対策を充実し、食育と運動部活動、体力向上を推進して、子どもたちの心身の健全な発達に努めます（9～13）
- III. 家庭や地域、関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成を進めます（14～19）
- IV. 施設の耐震化や老朽化に対応し、学校の環境整備に取り組みます（20～21）

「I. 気がかりな児童生徒を支援し、子どもたちが生き生きと学校生活を送るための充実した学校教育を行います」（1～8）については、各学校で「教育活動を地域に公開し、家庭や地域と一体となって子どもたちの教育について考え、行動する気運の高まり」が見られたことや、体験活動の推進、特別支援教育コーディネーター、ALT、FCA（福井市国際文化交流大使）等の取組等が成果として挙げられている。8項目すべてにおいて指標が達成されている。

「II. 学校における安全対策を充実し、食育と運動部活動、体力向上を推進して、子どもたちの心身の健全な発達に努めます」（9～13）については、災害などを想定した危機管理、通学路の安全対策・安全教育等が注目される。5項目すべてにおいて指標が達成されている。

「III. 家庭や地域、関係機関・団体と連携し、青少年の健全育成を進めます」（14～19）については、体験学習・職場体験学習の推進とともに、女性の就労とも関わって重要性が増している「放課後児童クラブの整備」等の重要項目が含まれている。昨年度は、全6項目中4項目（「15 放課後児童クラブの整備」、「16 地域における家庭教育支援の充実」、「18 家族ふれあいの推進」、「19 自然を生かした体験学習の実施」）で目標が達成されていたが、本年度は、「14 放課後児童クラブの整備」、「16 家庭教育の支援」、「18 家族ふれあいの推進」において指標が達成されている。「19 自然を生かした体験学習の実施」においては、少年自然の家の耐震補強工事の影響もあり、年間利用者数が目標を下回って

いる。

「IV. 施設の耐震化や老朽化に対応し、学校の環境整備に取り組みます」(20～21)については、学校の耐震化が100パーセント達成されるなど、2項目すべてで目標が達成されている。

## 2) 生涯学習・社会教育・スポーツ関係（博物館・美術館等の取組を含む）の施策について

福井市においては、コミュニティ活動の拠点としての公民館が小学校区ごとに設置され、また、図書館やスポーツ施設、一乗谷朝倉氏遺跡、養浩館庭園、おさごえ民家園、文化会館、美術館、郷土歴史博物館、自然史博物館等の教育文化施設が整備されている。こうした多様な取組の中でも、とりわけ小学校区ごとに独自の職員体制を敷く50館の公民館の組織は、地域の学習と活動を支える最も特長的な施策である。下記の4つの柱から構成されている。

V. 市民一人ひとりの自主的な学習活動を支援し、市民憲章運動を進めます(22～29)

VI. 生涯スポーツを推進し、市民の豊かなスポーツ活動を支援します

また、平成30年の福井国体・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた取組を進めます(30～32)

VII. 文化芸術活動を支援するとともに、歴史や文化遺産の保存と活用を進めます(33～40)

VIII. 自然科学教育の推進と中心市街地のにぎわいと交流を目的に、自然史博物館分館の整備を進めます(41)

「V. 市民一人ひとりの自主的な学習活動を支援し、市民憲章運動を進めます」(22～29)については、昨年度は全8項目中4項目（「23 公民館事業の推進」、「24 市民憲章運動の推進」、「27 世代間交流事業の推進」、「29 図書館サービスの拡充」）で指標が達成されていないが、本年度は、「23 公民館事業の推進」、「24 市民憲章運動の推進」、「27 世代間交流事業の推進」の各項目において目標を達成している。「29 図書館サービスの拡充」においては、レファレンス（調査相談）件数は増加しているが、市民1人当たりの貸出冊数および1日当たりの入館者数が目標を達成していない。今回の指標項目には示されていないが、市民1人当たりの蔵書数等の指標も合わせて検討し、市民の学習基盤としての図書館の充実を目指していくことが求められるだろう。

「VI. 生涯スポーツを推進し、市民の豊かなスポーツ活動を支援します また、平成30年の福井国体・全国障害者スポーツ大会の開催に向けた取組を進めます」(30～32)については、昨年度は全3項目中2項目（「30 スポーツ施設の充実」、「31 スポーツ活動の機会

の拡充)で達成されていなかったが、本年度は、「30 スポーツ施設の充実」の項目において目標を達成している。「31 スポーツ活動の機会の拡充」では、スポーツレクリエーション大会参加者数が減少している。高齢化社会が進む中、だれでも参加できるスポーツの拡充への新しい方策が必要となってきたと言えるだろう。

「Ⅶ. 文化芸術活動を支援するとともに、歴史や文化遺産の保存と活用を進めます」(33～40)については、昨年度は全8項目中3項目(「34 文化芸術活動の交流と情報発信」、「36 一乗谷朝倉氏遺跡の整備」、「37 養浩館庭園の整備と魅力向上」)で達成されなかったが、本年度は、「34 文化芸術活動の交流と情報発信」、「37 養浩館庭園の整備と魅力向上」で目標が達成されている。一乗谷朝倉氏遺跡については、消火栓修繕工事等の項目で予定通りの達成とはなっていないが、新幹線金沢開業の効果が続き、遺跡見学者数が45パーセント増加し34万人を超えるなど、目標を大きく上回っている。「38 おさごえ民家園の整備と活用」、「39 美術館企画展等の開催」では、それぞれ年間入園者数、企画展入場者数が目標を下回っている。美術館の企画展入場者数は、昨年度の3分の1に止まった。

「Ⅷ. 自然科学教育の推進と中心市街地のにぎわいと交流を目的に、自然史博物館分館の整備を進めます」については、企画展入場者数、年間総入館者数ともに昨年度を超えているが、当初の目標には達していない。

### 3. 取組の質を表す報告書

教育委員会の役割は、それぞれの学校や地域における学習を支える組織と基盤を支え、すべての人が自ら学び、自分たちの協働社会の主体として活躍していく基礎としての公教育を発展させていくことにある。教育委員会の取組や施策をめぐる評価は、そうした取組の展開、その現状を把握し、今後の課題と発展の可能性を探る重要な手がかりとなることが求められる。様々な取組に関する参加者や利用率という指標は、そうした取組の広がりを把握する上で重要な手がかりとなるが、そこでの取組の中で、どのような学習が展開され、発展が見られるのか、そこで何が目指され、どのような成果があり、課題が見出されたのかについては、別途検証が必要となる。それぞれの取組の中で、何が目指され、どのような展開あり、どのような学習や活動の発展が見られたのか。参加者の協力も得ながら、主催者がある内実を吟味検討し、広く市民・納税者に、その取組を公費によって、公的に理由・価値・効果を示しつつ、自ら検証を重ねていくことが求められることになる。学校や公民館をはじめとする社会教育施設、公的機関において、評価が求められてきているのは、そうした課題と関わっている。

組織や機関の取組を広く伝えるものとして、従来から広報紙があり、また組織と取組の概要をまとめた要覧等もまとめられてきたが、広報紙の多くは事業のお知らせで占められ、要覧は取組の形式的な項目の網羅を意図して作られており、取組の目的・展開、そこでの

成果と課題を明らかにするものとはなっていない。

今後は、公的組織に求められる評価とその公表を意図した組織としての記録・報告を継続的に蓄積していくことが、各組織に求められてくることになるが、そこでは次のような論点に関わる記述が求められる。

- ① それぞれの取組が、組織の任務・目的にとってどのような重要性を持つものなのか。(目的)
- ② 目的に迫るために、どのようなプラン・構成・組織が求められるのか。(プラン・構想)
- ③ 実際に取組がどのように組織され、展開されたのか。(実際の展開)
- ④ どのような結果・成果が得られたのか。(成果)
- ⑤ 長期的な目的に即して、それがどのような意味を持ち、どのような発展可能性を持つのか。(長期的な省察と展望)

そうした取組の内実を検証するための記録と評価を組織し、それを公表していくことは今後の重要な課題であるが、そうした課題への手がかりとなる取組がすでに様々な学校や社会教育施設において進められている。学校においては、すでに学校便りや自己評価書、学校の共同研究の報告書があり、これらのものを活用しながら、活動の価値と展開の検証という視点をより鮮明にして編集することによって、内容の評価に耐える学校年報を作っていくことが可能となるだろう。また福井市中央公民館の事業のまとめもそのための手がかりとなりうる。

福井市中央公民館発行・福井市生涯学習室監修 『福井市の公民館』では、福井市の各地区のそれぞれに特徴のある公民館において、それぞれ何を指し、どのような取組を展開し、その中でどのような活動の発展があったのかを具体的に紹介する記録が毎回3館ずつ掲載されている。長年公民館活動に携わってきた皆さんの経験に裏打ちされた言葉と合わせて、公民館活動の展開と意味を伝えるものとなっている。50館すべての報告が積み重ねられていくなれば、福井市の公民館の多様な活動の全体像を浮かび上がらせるものとなるだろう。

自らの取組を長期的に捉え直し、公にし、常に検証していく組織文化の形成は一朝一夕に実現できるものではないが、評価が公的組織において不可欠のものとなる中で、その質を高めていく上で倦むことなく取り組んでいくべき基本的課題である。先駆的な取組に学びつつ、それぞれの組織の状況に応じて取組を進めていくことが求められている。

今回は、以下の要覧・報告書・年報・広報等について、その構成と内容を検討した。

福井市美術館ニュース No.17 8頁

福井市文化財保護センター 年報 平成25年度 21頁

福井市自然史博物館要覧 39頁

福井市図書館だより（福井市図書館報） No. 28 2015. 11 9頁  
福井市少年愛護センターだより 第43・44・45号 2015. 7, 2015. 12, 2016. 3 各2頁  
福井市中央公民館 公民館事業のまとめ 平成27年度 162頁  
福井市中央公民館発行 福井市生涯学習室監修 福井市の公民館 No. 2 2015. 5 No. 3  
2015. 10, No. 4 2016. 2 各10頁  
福井市自然博物館 博物館だより No. 365 2015. 6 4頁

むすびに代えて

8月26日、中央教育審議会教育課程部会における次期学習指導要領に向けての審議のまとめが公開された。21世紀を生きる子どもたちが、社会の実践的な主体として成長していくことを支える主体的・協働的な学習をどう組織的に実現していくか。求められる学習とそれを実現するために求められる学校のあり方、そして社会的な支援への展望が提起されている。

求められる学習のあり方として「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)の実現が掲げられ、そうした学習を実現するために「社会に開かれた教育課程」と「カリキュラム・マネジメント」の重要性が提起され、地域と学校との協働によってそうした取組が不可欠となることが示されている。

従来の学習を転換し、主体的で協働的な学習を実現していこうとする提起は学習指導要領の改訂の度にこれまでも理念としては繰り返し掲げられてきたが、今回は実現のための組織的な取組、学校と地域における「カリキュラム・マネジメント」、教員養成・研修の改革、さらには求められる学習に対応する評価の転換(大学入試改革を含む)に踏み込んだ提案となっていることが大きな特色である。

福井市においては、主体的協働的な学習を学校と地域の協働で実現していくための、全国的に見てもきわめて先進的な学校づくりの取組がすでに進めてきている。そして、そうした学習を実現するための教員研修においても、全国的なモデルとなりうる先駆的な取組を重ねてきている。公民館を拠点とする地域の協働的な学びの文化の蓄積も厚い。今、全国的な規模で、また世界的な規模で、教育改革の取組がより組織的・実効的な計画として提起されてきている状況の中で、福井市がこれまでの蓄積を最大限に活かしつつ、より広範に子どもたちと地域社会の未来をひらく学びを実現していく、そのための組織的な取組が求められてくる。とりわけ問われるのは、個々の領域の取組を見据えつつ、それを超えてより大きな課題を共有し、協働的に取り組んでいくことを可能とする組織マネジメントの力である。学校と地域にまたがって多様な領域の取組を支える教育委員会には、個々の領域を結び、それぞれの発展が総体として「みんなが学び成長する」福井市を実現する力として働くための、組織マネジメントの不断の高度化が求められている。

#### 気がかりな児童生徒への支援の充実について

●児童生徒の道徳心と豊かな心を育て、問題行動の防止に努めるため、「いじめ防止基本方針」の見直しや「ネット危険対策プラン」の策定などに対応していただき感謝しております。次年度には市政広報を通じて広報することにより役立てていただけることと思います。今後は、市・学校・地域・家庭の連携のもと不登校児童生徒への支援の在り方だけでなく、幼児虐待対策や子どもの貧困問題にも対策プランの策定やご支援を切にお願いしたいと思います。

#### 中学校運動部活動の充実について

●平成30年の福井国体や2020年の東京オリンピックと、スポーツへの関心が高まり、部活動への期待も大きくなっているなか、トップアスリートの指導を受ける機会を提供していただいたり、外部の専門指導者を派遣していただいたり、指導者の指導力や資質の向上に努めていただいている事に感謝しております。ただ、一部では部活動担当の顧問の先生方に大きな負担がかかっているとお聞きします。担当の先生の負担軽減と、学校全体でのサポート体制を構築して頂けたらと思います。

#### 自然を生かした体験学習の実施について

●耐震改修工事がありながら、利用者数が、前年度比134%との増加をされている事は、受入事業で各学校・団体への広報活動をしていただいたこと、主催事業で外部講師を招くなど多種多様な講座を企画していただいたおかげだと思います。活動成果のデータなどを拝見する限り、部局達成度の自己評価は厳しく「くもり」「晴れ」でも良いのではと思います。私も何度も利用させて頂き、職員皆様の対応を見させていただいておりますが、どなたも笑顔で対応され素晴らしく感じております。しかし利用者（指導者・大人）の方から、施設内の食事に関してはあまり良い評判をお聞きしません。私も感じましたが、食事時間帯・食事メニュー内容などに改善が必要かと思えます。利用料金の値上げが生じても改善をされることを望みます。

#### 図書館サービスの拡充について

●インターネットや電子書籍の普及に押され、雑誌の廃刊・休刊が相次ぎ、活字離れ、本離れといわれる中、市民向け図書館行事や子育て支援行事などの開催や広報活動にも力を注がれ、図書館利用の拡大に努めていただいていることに感謝しております。利用者数の伸びは少なくとも、一人当たりの貸出冊数が微小ながら増加していることや、レファレンス件数の多さは、市内の図書館だけでなく県内の多くの図書館でも増えているとお聞きしております。そのレファレンスの内容を精査し、利用者のニーズに合った書籍の選定やサービス向上に活かしていただきたいと思えます。

#### スポーツ施設の充実について

●平成30年開催の国体に向けて、多くのスポーツ施設の新築や改修・リフレッシュ・バリアフリー化など整備が進んでおり、利用者の利便性・快適性向上に努めていただいていることに感謝しております。工事期間中の施設での利用者数の減少があった中、全体の利用者数の増加があったことは、市営スポーツ施設の低料金と利用促進活動のおかげであると思います。今後も市民のため、継続的な対応をお願いします。また一部の施設で、管理者の利用者への対応が、管理人ごとに異なっていたり、横柄な対応をしたり、小中高生への暴言を発する方もいらっしゃったり、トラブルになっている事もあるとお聞きしております。施設のハード面の改修改善だけでなく、管理人の資質向上や一定の利用マニュアルなどの策定配布などソフト面の改善もお願いします。

#### おさごえ民家園の整備と活用について

●旧城地家住宅改修工事を利用し、工事見学会や完成記念行事を行ったり、学校への校外学習利用を広報されるなど、多種多様な体験学習会を企画され入園者増に努められたことに感謝しております。そんな努力をされておりながら部局達成度の自己評価は厳しく、前年度より下がった「雨」になっておりますが「くもり」でも良いのではと思います。そのことは次年度への意気込みと察し、新たな企画や展開を期待するところであります。おさごえ民家園の存在は広く市民に周知のところでありますが、日々どんな事業が開催されているのかについては、なかなか知り得ないところがあります。生涯学習事業の一つとして各地区公民館を通じて各種団体へ広報し、利用していただくと良いのではないのでしょうか。

#### 最後に

●教育委員会各部局を通じ、義務教育だけでなく大人の生涯学習まで幅広く事業を企画実施していただいていますことに深く感謝申し上げます。実施していただいた様々な事業で、子どもたちの健全な育成が実現されており、子どもたちの夢の実現に向けて、何歩も進んでいることと確信しております。今後も、ふるさと福井の担い手であり、世界に羽ばたく子どもたちのために、更なる施策の充実と一層のご支援をお願い申し上げます。